

5.2 自然的状況

5.2.1 気象、大気質、騒音、振動等の状況

(1) 気象

① 降水量・気温・日照時間

計画区域周辺の気象観測所は、図 5.2-1 に示す鳩山地域気象観測所である。

平成 30 年及び過去 10 年間の気象の概要は表 5.2-1～2 に示すとおりである。

表 5.2-1 鳩山地域気象観測所における気象の状況（平成 30 年）

月	降水量(mm)				気温(°C)					日照時間(h)
	合計	日最大	最大		平均			最高	最低	
			1 時間	10 分間	日平均	日最高	日最低			
1	17.5	14.5	3.0	1.0	1.9	9.4	-4.9	16.4	-10.0	202.5
2	12.0	5.5.0	1.5	0.5	3.4	10.2	-3.2	16.3	-8.3	184.6
3	146.0	40.0	9.5	2.5	10.0	16.9	3.3	26.1	-2.8	212.0
4	41.5	20.0	9.5	2.0	15.7	22.9	9.1	30.8	-0.7	208.6
5	105.5	25.0	10.5	2.5	18.9	25.9	12.5	32.5	5.1	199.0
6	119.0	52.5	9.5	7.5	22.5	27.8	17.6	36.1	14.2	194.0
7	167.0	67.5	55.5	14.5	28.2	34.2	23.5	39.8	18.8	229.3
8	126.5	31.0	23.5	11.0	27.6	33.9	22.7	38.5	14.1	212.5
9	284.0	62.0	21.5	15.0	22.0	26.8	18.9	34.1	10.7	72.9
10	33.0	11.5	12.0	3.0	17.6	23.3	12.9	32.6	6.4	142.7
11	18.5	16.0	5.0	1.5	12.0	18.3	6.6	24.6	0.2	153.0
12	21.5	11.5	4.5	1.0	6.1	12.6	0.0	21.1	-6.4	170.9
年間	1,092.0	357.0	166.0	62.0	186.0	262.0	119.0	349.0	41.0	2,182.0

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

表 5.2-2 鳩山地域気象観測所における気象の状況（平成 21～平成 30 年）

年	降水量(mm)		気温(°C)			日照時間(h)
	合計	日最大	平均	最大	最低	
平成 21	(1,105.5)	(100.5)	14.4	37.1	-8.0	1,795.8
平成 22	(1,188.0)	(63.5)	14.7	38.5	-8.6	2,030.4
平成 23	1,396.5	162.5	14.2	39.4	-10.2	2,073.8
平成 24	1,269.0	102.5	14.1	37.6	-9.8	2,102.0
平成 25	1,206.0	100.5	14.6	39.8	-8.9	2,246.8
平成 26	1,651.5	149.0	14.3	38.6	-9.3	2,221.9
平成 27	1,366.5	166.5	15.1	38.3	-7.0	2,028.8
平成 28	1,366.0	204.5	15.1	37.9	-8.2	1,945.2
平成 29	1,404.5	119.5	14.4	37.2	-8.2	2,133.9
平成 30	1,092.0	67.5	15.5	39.8	-10.0	2,182.0

注) () 内の数値は、統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けているもの（資料不足値）を示す。

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

② 風向・風速

計画区域最寄りの一般環境大気測定局は、図 5.2-1 に示す日高測定局である。

平成 30 年における月別風向・風速は表 5.2-3 に、平成 21 年～30 年における風向風速の年間推移は表 5.2-4 に、日高測定局における月別風向頻度は図 5.2-2 に示すとおりである。

平成 30 年における最多風向は南西、平均風速は 1.6m/s であった。また、過去 10 年間における年間最多風向は南西であり、平均風速は 1.6～1.8m/s であった。

表 5.2-3 日高測定局における月別風向・風速（平成 30 年）

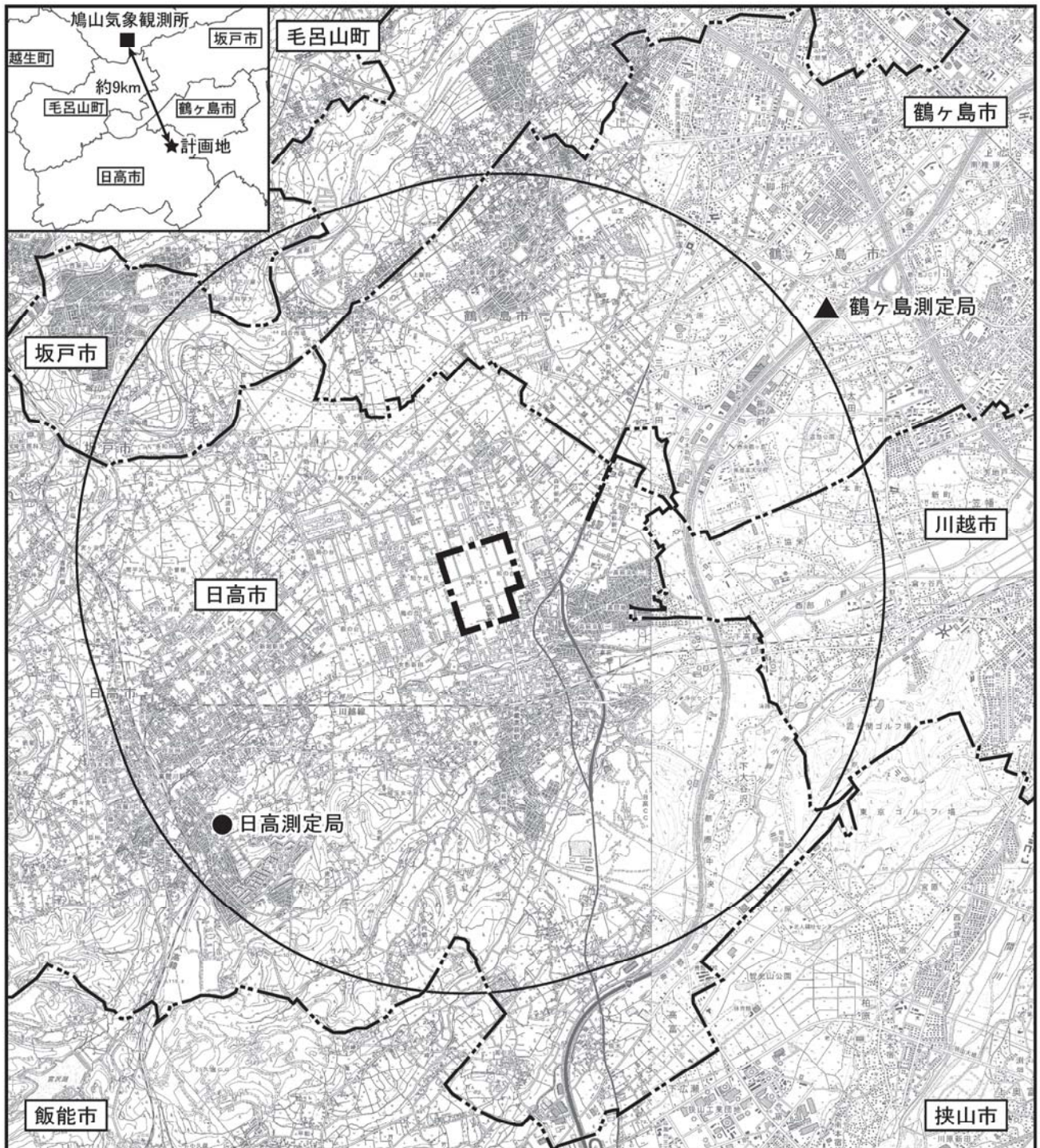
月	最多風向	平均風速(m/s)	最大風速及びその時の風向	
			風速(m/s)	風向
1	南西	1.7	6.7	北北西
2	南西	1.6	8.6	北北東
3	南西	1.8	6.6	北
4	南西	1.9	7.6	南
5	南西	1.6	7.0	北
6	北東	1.6	7.7	南
7	南南東	1.5	6.2	南
8	南西	1.7	6.5	北
9	静穏	1.3	9.0	南東
10	南西	1.2	9.5	北東
11	南西	1.2	4.6	北西
12	南西	1.8	8.0	北北西
年間	南西	1.6	9.5	北東

出典：「埼玉県の大気状況-埼玉県大気汚染常時監視システム」（埼玉県環境部大気環境課ホームページ）

表 5.2-4 日高測定局における風向・風速の年間推移（平成 21～30 年）

年	最多風向	平均風速(m/s)	最大風速及びその時の風向	
			風速(m/s)	風向
平成 21	南西	1.7	10.5	北北西
平成 22	南西	1.6	11.7	南南西
平成 23	南西	1.7	9.0	北北西
平成 24	南西	1.8	9.7	南
平成 25	北、南西	1.8	9.4	北
平成 26	南西	1.8	9.4	北
平成 27	南西	1.7	8.3	北北西
平成 28	南西	1.7	9.8	北
平成 29	南西	1.7	8.5	北北西
平成 30	南西	1.6	9.5	北東

出典：「埼玉県の大気状況-埼玉県大気汚染常時監視システム」（埼玉県環境部大気環境課ホームページ）

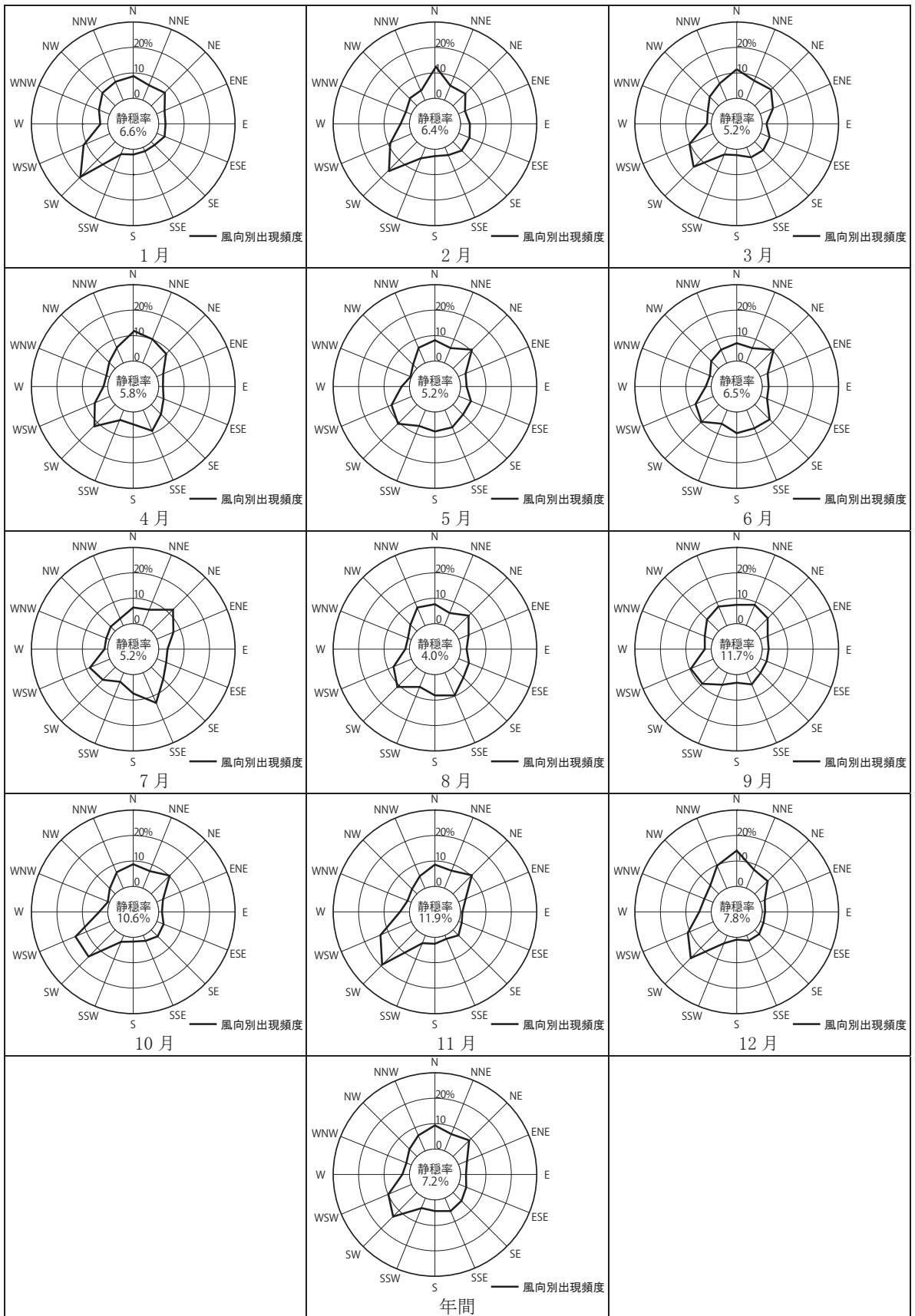


凡 例

- — — 計画区域
 - - - 市 界
 - 環境に影響を及ぼす地域
(計画地敷地境界から3km)
- 気象観測所 (左上図)
 - 一般環境大気測定局
 - ▲ 自動車排出ガス測定局

図5.2-1 気象観測所及び
大気汚染常時監視測定局位置図





注) 2月のみ欠測値0.6%を含む。

出典:「埼玉県の気象状況-埼玉県大気汚染常時監視システム」より作成。

(埼玉県環境部大気環境課ホームページ)

図 5.2-2 日高測定局における月別風向頻度 (平成 30 年)

(2) 大気質

① 大気質の状況

計画区域周辺の大气汚染常時監視測定局は、図 5.2-1 に示したとおり、一般環境大气測定局の日高測定局、自動車排出ガス測定局の鶴ヶ島測定局が設置されている。平成 28 年度における各項目の測定結果は表 5.2-5～9 に示すとおりである。

各測定局の達成状況を見てみると、日高測定局における光化学オキシダントのみ環境基準を達成できていない。

表 5.2-5 二酸化硫黄の測定結果（平成 28 年度）

測定局名	年平均値 (ppm)	1時間値 が0.1ppm を超えた 時間 (時間)	日平均値 が0.04ppm を超えた 日数 (日)	日平均値の 2%除外値 (ppm)	日平均値が 0.04ppmを超 えた日が2日 以上連続した ことの有無	環境基準の長 期的評価によ る日平均値が 0.04ppmを超 えた日数 (日)	環境基準 達成○ 非達成×	
							長期的 評価	短期的 評価
日高測定局	0.001	0	0	0.004	無	0	○	○

環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。

出典：「大気汚染常時監視測定結果報告書（平成 28 年度）」（埼玉県環境部大気環境課）

表 5.2-6 二酸化窒素の測定結果（平成 28 年度）

測定局名	年平均値 (ppm)	日平均値が 0.06ppmを 超えた日数 (日)	日平均値が 0.04ppm以上 0.06ppm以下 の日数 (日)	日平均値の 年間 98%値 (ppm)	98%値評価に よる日平均値が 0.06ppmを 超えた日数 (日)	環境基準 達成○ 非達成×
日高測定局	0.009	0	0	0.019	0	○
鶴ヶ島測定局	0.017	0	0	0.030	0	○

環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

出典：「大気汚染常時監視測定結果報告書（平成 28 年度）」（埼玉県環境部大気環境課）

表 5.2-7 光化学オキシダントの測定結果（平成 28 年度）

測定局名	昼間の 1時間値の 年平均値(ppm)	昼間の1時間値が0.06ppm を超えた日数と時間数		昼間の1時間値が0.12ppm以上 の日数と時間数		環境基準 達成○ 非達成×
		日	時間	日	時間	
日高測定局	0.032	86	412	1	2	×

環境基準：1時間値が0.06ppm以下であること。

出典：「大気汚染常時監視測定結果報告書（平成 28 年度）」（埼玉県環境部大気環境課）

表 5.2-8 浮遊粒子状物質の測定結果（平成 28 年度）

測定局名	年 平均値 (mg/m ³)	1 時間値が 0.20 mg/m ³ を 超えた時間数 (時間)	日平均値が 0.10 mg/m ³ を 超えた日数 (日)	日平均値の 2%除外値 (mg/m ³)	日平均値が 0.10 mg/m ³ を 超えた日が 2 日以上連続 したことの 有無	環境基準の 長期的評価による 日平均値が 0.10 mg/m ³ を 超えた日数 (日)	環境基準 達成○ 非達成×	
							長期的 評価	短期的 評価
日高 測定局	0.016	0	0	0.039	無	0	○	○
鶴ヶ島 測定局	0.021	0	0	0.046	無	0	○	○

環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

出典：「大気汚染常時監視測定結果報告書（平成 28 年度）」（埼玉県環境部大気環境課）

表 5.2-9 微小粒子状物質の測定結果（平成 28 年度）

測定局名	日平均値の 年平均値 (μg/m ³)	日平均値の 年間98%値 (μg/m ³)	日平均値が35 μg/m ³ を 超えた日数とその割合		環境基準 達成○ 非達成×	
			(日)	(%)	長期的 評価	短期的 評価
日高測定局	10.8	26.0	0	0.0	○	○

環境基準：1 年平均値が 15 μg/m³ 以下であり、かつ、1 日平均値が 35 μg/m³ 以下であること。

出典：「大気汚染常時監視測定結果報告書（平成 28 年度）」（埼玉県環境部大気環境課）

② 苦情の状況

平成 29 年度における関係市町の公害苦情件数は、表 5.2-10 に示すとおりであり、大気汚染に関する苦情は、日高市で 33 件、鶴ヶ島市で 16 件、坂戸市で 7 件、川越市で 8 件、飯能市で 31 件、毛呂山町で 11 件であった。

表 5.2-10 公害苦情件数（平成 29 年度）

種別 市名	大気 汚染	水質 汚濁	土壌 汚染	騒音	振動	地盤 沈下	悪臭	不法 投棄	雑草	害虫	その他	総数
日高市	33	6	—	24	1	—	12	—	—	—	—	76
鶴ヶ島市	16	5	—	12	—	—	10	—	—	—	—	43
坂戸市	7	1	—	8	—	—	6	41	—	—	19	82
川越市	8	—	—	18	4	—	21	—	—	—	—	51
飯能市	31	1	—	14	—	—	6	2	76	16	39	185
毛呂山町	11	1	—	5	1	—	5	—	—	—	4	27

注) 表中の「—」は該当数字なしを示す。

出典：「統計ひだか 平成 29 年版資料集」（日高市ホームページ）

「鶴ヶ島市 平成 29 年度環境報告書」（鶴ヶ島市ホームページ）

「統計坂戸 平成 29 年度版」（坂戸市ホームページ）

「平成 30 年度版川越市の環境行政」（川越市ホームページ）

「平成 29 年度主要な施策の成果説明書」（飯能市ホームページ）

「平成 29 年度公害苦情調査」（公害等調整委員会事務局総務課長及び環境賞水・大気環境局大気生活環境室長より依頼）

(3) 騒音

① 騒音の状況

計画区域周辺における、平成 28 年度の道路交通騒音の点的評価結果は表 5.2-11 に、面的評価結果は表 5.2-12 に、道路交通騒音の調査地点は、図 5.2-3 に示すとおりである。

点的評価では、国道 407 号鶴ヶ島市高倉において昼間は環境基準を達成しているが、夜間では環境基準を超過していた。その他の地点においては、昼間、夜間ともに環境基準を達成していた。

また、面的評価では、県道川越日高線において昼間、夜間ともに基準値を超過する戸数が多くなっている。

表 5.2-11 道路交通騒音の点的評価結果（平成 28 年度）

番号	調査道路		測定地点	類型	車線数	等価騒音レベル(dB)							
						測定値		環境基準			要請限度		
						昼間	夜間	昼間	夜間	適否	昼間	夜間	適否
1	高速道路	関越自動車道	鶴ヶ島市脚折 1384-89	B	6	62	58	70	65	○	75	70	○
2		関越自動車道	鶴ヶ島市南町 1-7-22	B	6	61	57	70	65	○	75	70	○
3	国道	国道 468 号 (圏央道)	鶴ヶ島市上広谷 590-13	B	4	57	54	70	65	○	75	70	○
4		国道 407 号	鶴ヶ島市三ツ木 176-5	B	4	67	66	70	65	○	75	70	○
5		国道 407 号	鶴ヶ島市高倉 1246-3	B	2	68	67	70	65	×	75	70	○
6		県道 川越坂戸毛呂山線	鶴ヶ島市富士見 2-34	B	2	62	58	70	65	○	75	70	○
7		県道日高川島線	鶴ヶ島市羽折町 19	B	2	68	63	70	65	○	75	70	○
8		県道川越越生線	鶴ヶ島市下新田 230-1	B	2	66	61	70	65	○	75	70	○
9		県道川越越生線	鶴ヶ島市太田ヶ谷 662-5	B	2	66	61	70	65	○	75	70	○
10		県道日高狭山線	日高市大字馬引沢	B	2	70	65	70	65	○	75	70	○
11	市道	市道 547-2 号線	鶴ヶ島市三ツ木 252-1	B	2	61	56	65	60	○	75	70	○
12		市道 758 号線	鶴ヶ島市藤森 876-11	B	2	57	51	65	60	○	75	70	○

注) 表中の番号は図 5.2-3 の番号と対応している。

出典：「平成 28 年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」(埼玉県ホームページ)

表 5.2-12 道路交通騒音の面的評価結果（平成 28 年度）

番号	評価区間番号	評価対象道路	測定地点における 等価騒音レベル(dB)		評価対象 住居戸数 a=b+c+d+e (戸)	昼間・夜間 とも基準値 以下 b (戸)	昼間のみ 基準値以下 c (戸)	夜間のみ 基準値以下 d (戸)	昼間・夜間 とも基準値 超過 e (戸)
			昼間	夜間					
232	2010-40450-2	県道川越日高線	—	—	174	139	2	0	33
255	2010-61920-1	県道笠幡狭山線	68	63	60	60	0	0	0
1046	2010-41090-2	県道川越坂戸毛呂山線	—	—	481	481	0	0	0
1048	2010-41110-2	県道川越坂戸毛呂山線	62	58	373	373	0	0	0
1049	2010-42120-1	県道日高川島線	68	63	46	46	0	0	0
1054	2010-40740-1	県道飯能寄居線	70	68	450	366	80	0	4
1055	2010-61940-1	県道日高狭山線	—	—	106	100	0	0	6

注) 表中の評価区間番号は図 5.2-3 の番号と対応している。

出典：「平成 28 年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」(埼玉県ホームページ)

② 苦情の状況

平成 29 年度における騒音に関する公害苦情件数は、日高市では 24 件、鶴ヶ島市で 12 件、坂戸市で 8 件、川越市で 18 件、飯能市で 14 件、毛呂山町で 5 件であった(表 5.2-10 参照)。

(4) 振動

① 振動の状況

計画区域周辺における、平成 28 年度の道路交通騒音の測定地点は、図 5.2-3 に示すとおりである。

各測定地点の道路交通振動の測定結果は、表 5.2-13 に示すとおりであり、全地点において要請限度を下回っている。

表 5.2-13 道路交通振動の測定結果（平成 28 年度）

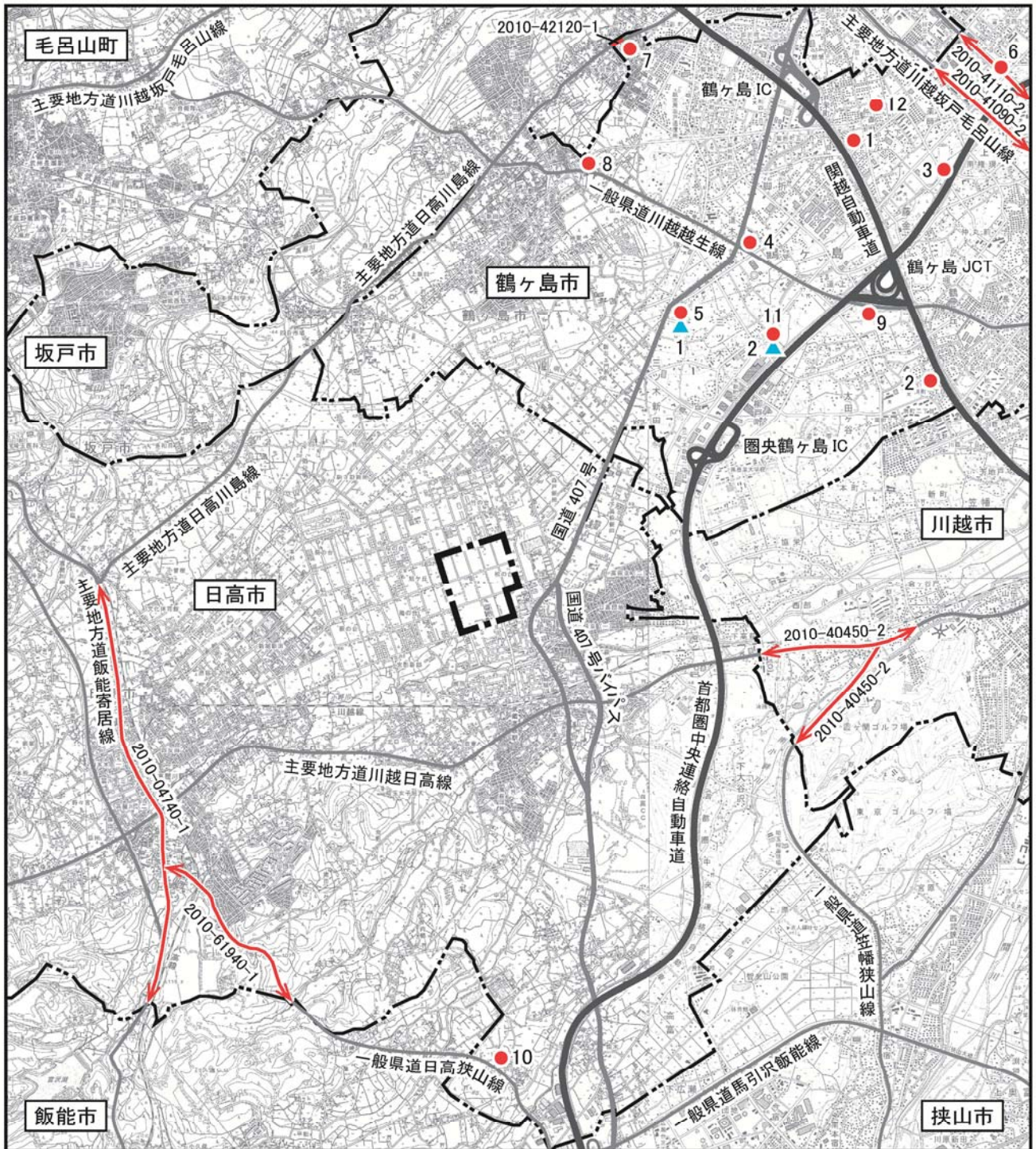
番号	調査道路		測定地点	区域	車線数	振動レベル (dB)				
						測定値		要請限度		
						昼間	夜間	昼間	夜間	適否
1	国道	国道 407 号	鶴ヶ島市 高倉 1246-3	1	2	52	50	65 ○	60 ○	○
2	市道	市道 547-2 号線	鶴ヶ島市 三ツ木 252-1	1	2	47	37	65 ○	60 ○	○

注) 表中の評価区間番号は図 5.2-3 の番号と対応している。

出典：「平成 28 年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」（埼玉県ホームページ）

② 苦情の状況

平成 29 年度における振動に関する公害苦情件数は、日高市で 1 件、川越市で 4 件、毛呂山町で 1 件であった（表 5.2-10 参照）。



凡 例

- | | | |
|-----------|---------------|----------------|
| --- 計画区域 | —— 主要地方道、一般県道 | ● 騒音（点的評価）調査地点 |
| - - - 市 界 | —— 高速道路 | ↔ 騒音（面的評価）調査地点 |
| | —— 一般国道 | ▲ 振動調査地点 |

注) 図中の番号は表5.2-11~13の番号と対応している。

出典：「平成28年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」（埼玉県ホームページ）

図5.2-3 道路交通騒音・振動測定地点



5.2.2 水質、底質、水象等の状況

(1) 水質

① 河川

日高市では市内を流れる河川について増水期及び渇水期において水質調査をおこなっている。調査結果は表 5.2-14(1)～(4)に、調査地点の位置は図 5.2-4 に示すとおりである。

増水期においては、境橋上流の BOD、全調査地点の大腸菌群数、落合橋上流以外の全調査地点の糞便性大腸菌群数が環境基準を達成していなかった。

渇水期においては、境橋上流の BOD、高麗川橋下流・境橋上流・落合橋上流の大腸菌群数、境橋上流の全亜鉛、鳥ヶ谷戸橋と神流橋上流以外の糞便性大腸菌群数が環境基準を達成していなかった。

表 5.2-14(1) 水質測量結果（増水期：平成 29 年 7 月 19 日）

項目	調査地点	高麗川	宿谷川	小畔川			環境基準	
	高麗川橋下流	鳥ヶ谷戸橋下流	小畔川橋上流	境橋上流	中田橋下流	A 類型 (生物 A)	B 類型 (生物 B)	
pH	8.5	8.3	7.7	7.6	7.9	6.5 以上 8.5 以下		
BOD (mg/L)	0.5	0.6	<0.5	8.2	1.2	2 以下	3 以下	
COD (mg/L)	1.8	2	3.9	5.5	4	—		
SS (mg/L)	<1	<1	10	<1	<1	25 以下		
DO (mg/L)	9.6	10	7.8	5.6	8.4	7.5 以上	5 以上	
大腸菌群数 (MPN/100mL)	33000	49000	7900	33000	49000	1,000 以下	5,000 以下	
全亜鉛 (mg/L)	<0.003	<0.003	<0.003	0.008	0.007	0.03 以下		
ノニルフェノール (mg/L)	<0.00006	—	—	—	<0.00006	0.01 以下	0.02 以下	
糞便性大腸菌群数 (MPN/100mL)	230	220	380	1100	370	100 個以下		

注 1) 環境基準（類型）の（ ）は、参考であることを示す。

注 2) 糞便性大腸菌群の基準については、「水浴場水質判定基準（環境省）」の「水質 A」を示す。

出典：「平成 29 年度日高市の河川水質・水生生物分析調査結果」（日高市ホームページ）

表 5.2-14(2) 水質測量結果（増水期：平成 29 年 7 月 19 日）

調査地点	下小畔川	第 2 小畔川	南小畔川	環境基準	
	上之條公会堂下流	落合橋上流	神流橋上流	A 類型 (生物 A)	B 類型 (生物 B)
pH	7.7	7.8	7.8	6.5 以上 8.5 以下	
BOD (mg/L)	1.4	0.5	0.7	2 以下	3 以下
COD (mg/L)	6.6	3.1	3.8	—	
SS (mg/L)	1	<1	<1	25 以下	
DO (mg/L)	7.4	8	7.8	7.5 以上	5 以上
大腸菌群数 (MPN/100mL)	79000	33000	11000	1,000 以下	5,000 以下
全亜鉛 (mg/L)	0.012	0.004	0.005	0.03 以下	
ノニルフェノール (mg/L)	—	—	<0.00006	0.01 以下	0.02 以下
糞便性大腸菌群数 (MPN/100mL)	140	93	110	100 個以下	

注 1) 環境基準（類型）の（ ）は、参考であることを示す。

注 2) 糞便性大腸菌群の基準については、「水浴場水質判定基準（環境省）」の「水質 A」を示す。

出典：「平成 29 年度日高市の河川水質・水生生物分析調査結果」（日高市ホームページ）

表 5.2-14(3) 水質測量結果（湧水期：平成 30 年 1 月 29 日）

調査地点	高麗川	宿谷川	小畔川			環境基準	
	高麗川橋 下流	鳥ヶ谷戸橋 下流	小畔川橋 上流	境橋 上流	中田橋 下流	A 類型 (生物 A)	B 類型 (生物 B)
pH	7.8	7.7	7.6	7.3	7.6	6.5 以上 8.5 以下	
BOD (mg/L)	<0.5	<0.5	<0.5	4.8	1.4	2 以下	3 以下
COD (mg/L)	1.6	1.2	2.5	6.1	6	—	
SS (mg/L)	<1	<1	4	1	2	25 以下	
DO (mg/L)	14.2	13.5	14.1	8.4	11.8	7.5 以上	5 以上
大腸菌群数 (MPN/100mL)	1100	330	790	1300	790	1,000 以下	5,000 以下
全亜鉛 (mg/L)	<0.003	<0.003	<0.003	0.057	0.03	0.03 以下	
ノニフェノール (mg/L)	<0.00006	—	—	—	<0.00006	0.01 以下	0.02 以下
糞便性大腸菌群数 (MPN/100mL)	160	58	180	470	400	100 個以下	

注 1) 環境基準（類型）の（ ）は、参考であることを示す。

注 2) 糞便性大腸菌群の基準については、「水浴場水質判定基準（環境省）」の「水質 A」を示す。

出典：「平成 29 年度日高市の河川水質・水生生物分析調査結果」（日高市ホームページ）

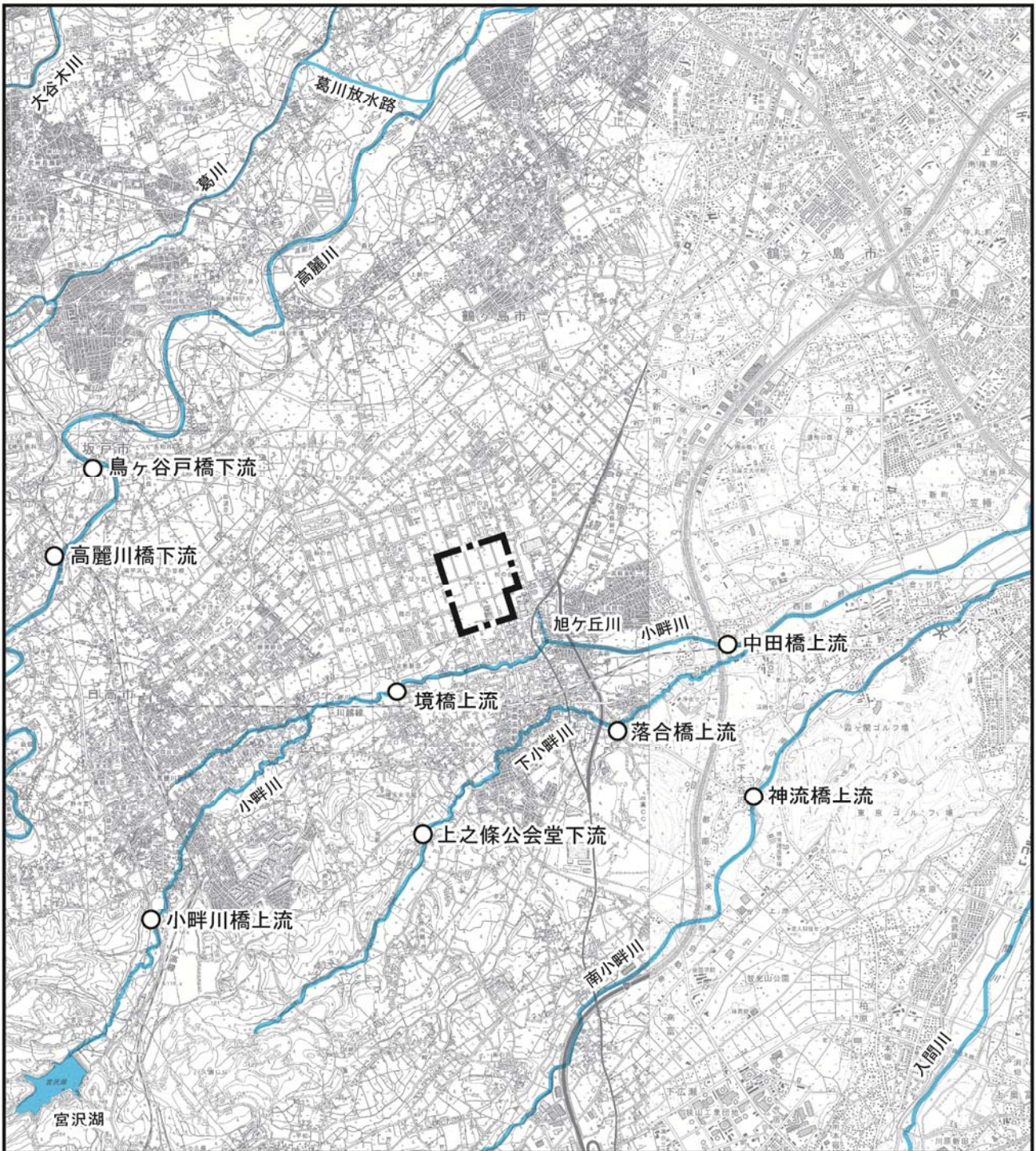
表 5.2-14(4) 水質測量結果（湧水期：平成 30 年 1 月 29 日）

調査地点	下小畔川	第 2 小畔川	南小畔川	環境基準	
	上之條公会堂 下流	落合橋上流	神流橋上流	A 類型 (生物 A)	B 類型 (生物 B)
pH	7.5	7.5	7.6	6.5 以上 8.5 以下	
BOD (mg/L)	0.6	1.5	1.9	2 以下	3 以下
COD (mg/L)	5.4	3.9	5.6	—	
SS (mg/L)	15	3	3	25 以下	
DO (mg/L)	13.4	11.7	9.9	7.5 以上	5 以上
大腸菌群数 (MPN/100mL)	330	1400	220	1,000 以下	5,000 以下
全亜鉛 (mg/L)	0.022	0.011	0.009	0.03 以下	
ノニフェノール (mg/L)	—	—	<0.00006	0.01 以下	0.02 以下
糞便性大腸菌群数 (MPN/100mL)	180	200	100	100 個以下	

注 1) 環境基準（類型）の（ ）は、参考であることを示す。

注 2) 糞便性大腸菌群の基準については、「水浴場水質判定基準（環境省）」の「水質 A」を示す。

出典：「平成 29 年度日高市の河川水質・水生生物分析調査結果」（日高市ホームページ）



凡 例

- 計画区域 ○ 水質調査地点
- - - 市 界
- 河 川
- 湖 沼

出典：「平成29年度日高市の河川水質・水生生物分析調査結果」（日高市ホームページ）

図5.2-4 水質・底質測定地点位置図

0 500 1,000 2,000m



② 地下水

関係市町における平成 28 年度の地下水の調査結果は、表 5.2-15 に示すとおりである。

関係市町では 10 地点で概況調査がおこなわれているが、環境基準を達成しなかった地点はない。

表 5.2-15 地下水の概況調査結果

区分	調査地点数	鉛		トリクロロエチレン		テトラクロロエチレン		硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		ふっ素		ほう素	
		検出地点	基準超過地点	検出地点	基準超過地点	検出地点	基準超過地点	検出地点	基準超過地点	検出地点	基準超過地点	検出地点	基準超過地点
西部地域	日高市	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	川越市	3	—	—	1	—	1	—	3	—	2	—	—
	飯能市	4	1	—	—	—	—	4	—	—	—	2	—
東松山地域	鶴ヶ島市	1	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—
	坂戸市	1	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—
	毛呂山町	2	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—
地下水環境基準値 (mg/L)		0.01 以下		0.01 以下		0.01 以下		10 以下		0.8 以下		1 以下	

注) 「—」は検出されなかったことを示す。

出典：「平成 28 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」(埼玉県ホームページ)

③ 苦情の件数

平成 29 年度における水質汚濁に関する苦情件数は、日高市で 6 件、鶴ヶ島市で 5 件、坂戸市で 1 件、飯能市で 1 件、毛呂山町で 1 件となっている (表 5.2-10 参照)。

(2) 底質

計画区域周辺では、底質の調査はおこなわれていない。

5.2.3 土壌及び地盤の状況

(1) 土壌

① 農用地における土壌汚染

埼玉県では、農用地の土壌汚染状況を把握するため、銅、砒素、カドミウムについての調査を昭和46年から5年に一度おこなっている。

昭和54年から平成29年までの調査結果は表5.2-16に示すとおりであり、いずれの項目も環境基準を達成している。

表 5.2-16 農用地の土壌汚染状況調査の分析測定結果

単位：mg/kg

調査年度		調査地点の分析測定結果											
		土壌中（乾物）								玄米中（現物）			
		銅				砒素				カドミウム			
		最高	最低	平均	調査地点	最高	最低	平均	調査地点	最高	最低	平均	調査地点
一巡目	(S.54～57) 全県	32.3	0.1	11.3	90	11.8	tr	1.9	90	0.37	0.02	0.11	46
二巡目	(S.59～62) 全県	23.6	0.1	9	90	5.3	tr	1.4	90	0.3	nd	0.09	48
三巡目	(H.元～4) 全県	21.6	0.3	9.3	90	8	tr	1.8	90	0.38	tr	0.09	46
四巡目	(H.6～9) 全県	28.7	0.2	9.4	87	13.1	tr	2.2	87	0.3	tr	0.06	31
五巡目	(H.11～14) 全県	30.8	0.1	11.2	180	11.3	0.1	2	180	0.28	tr	0.09	50
六巡目	(H.16～19) 全県	21.5	tr	8.9	180	6.4	0.1	1.7	180	0.31	tr	0.06	47
七巡目	(H.21～24) 全県	21.7	tr	9.5	165	7.9	tr	1.7	165	0.22	tr	0.03	43
八巡目	(H.26～29) 全県	25.5	0.1	9.1	118	10.5	0.2	2.5	118	0.29	tr	0.05	31
環境基準		土壌 1kg につき 125mg 未満				土壌 1kg につき 15mg 未満				米 1kg につき 0.4mg 以下			

nd：検出限界以下、tr：極微量検出を示す。

注) 県農業技術研究センターの分析結果で、昭和58年、63年、平成5年、10年、20年、25年は各調査巡のとりまとめ年である。

出典：「平成30年版埼玉県環境白書 資料編」（平成30年12月、埼玉県環境部環境政策課）

② ダイオキシン類

埼玉県では、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく土壌の常時監視測定（発生源周辺状況把握調査及び一般環境把握調査）をおこなっている。

平成 29 年度の計画区域周辺における、土壌中のダイオキシン類の常時監視結果は表 5.2-17 に示すとおりであり、いずれもダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準を達成している。

表 5.2-17 土壌中のダイオキシン類の常時監視結果（平成 29 年度）

単位：pg-TEQ/g

調査区分	調査地点		調査結果	環境基準
一般環境把握調査	鶴ヶ島市	富士見	5.3	1,000 以下
		坂戸市	石井	
	川越		新堀	
		藤間	宮下町	
	飯能市		双柳	
		長沢	0.20	
		下赤工	0.51	
		阿須	0.057	
		上名栗	1.8	
	発生源周辺状況調査	日高市	駒寺野新田	
駒寺野新田			1.4	
旭ヶ丘			4.8	
森戸新田			5.9	
鶴ヶ島市		上新田	5.5	
		高倉	7.0	
		新町	12	
川越市		笠幡	1.9	
			7.3	

出典：「平成 29 年度土壌常時監視結果 ダイオキシン類」（埼玉県ホームページ）

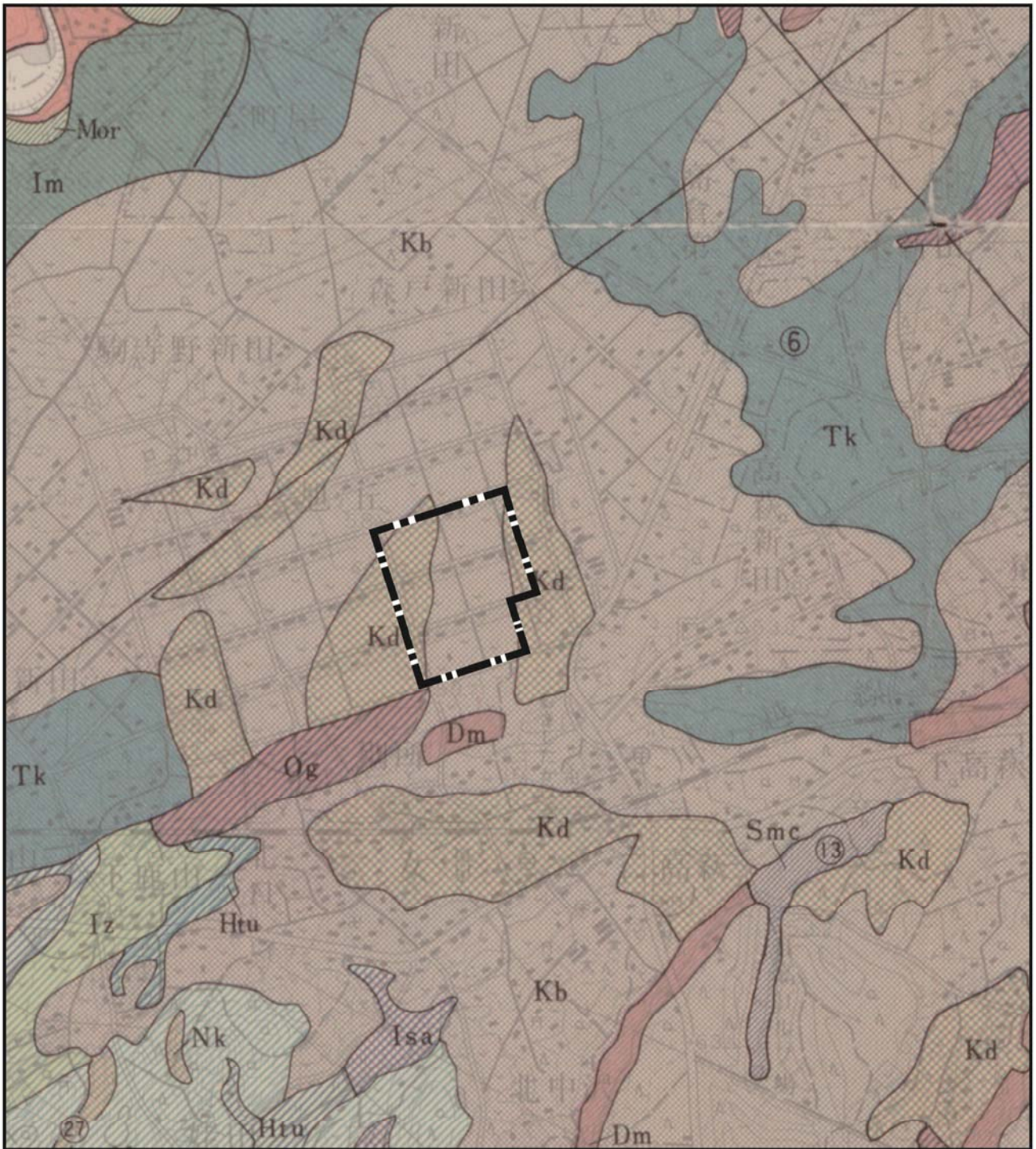
③ 土壌の分布状況

計画区域周辺の土壌の分布状況は、図 5.2-5 に示すとおりである。

計画区域一帯は、淡色黒ボク土壌（児玉統）、黒ボク土壌（冑山統）が分布している。

④ 苦情の状況

平成 29 年度における土壌汚染に関する苦情はなかった。（表 5.2-10 参照）。



凡 例

- | | | | | |
|--|--|---|---|--|
| <p>----- 計画区域</p> <p>細粒グライ土壌
[Isa] 伊佐沼統</p> <p>多湿黒ボク土壌
[Dm] 道目木統</p> | <p>褐色低地土壌
[Tg] 勅使河原統</p> <p>黒ボク土壌
[Kb] 冑山統</p> <p>[Tk] 高倉統</p> <p>[Im] 今福統</p> | <p>乾性褐色森林土壌
[My] 宮沢統</p> <p>厚層黒ボク土壌
[Og] 太田ヶ谷統</p> <p>[Ksa] 笠幡統</p> | <p>黒ボクグライ土壌
[Smc] 新町統</p> <p>褐色森林土壌
[Iz] 石板統</p> <p>[Nk] 中鹿山統</p> | <p>淡色黒ボク土壌
[Kd] 児玉統</p> <p>細粒灰色低地土壌
[Htu] 平塚統</p> <p>[Mor] 森戸統</p> |
|--|--|---|---|--|

出典：「1/50,000土地分類基本調査（土壤図）川越」（昭和46年8月、埼玉県）

図5.2-5 土壤図

0 250 500 1,000m



(2) 地盤

① 地盤沈下の状況

計画区域及び周辺地域における平成 25 年～平成 30 年の地盤標高の変動量の測量結果は、表 5.2-18 に、位置は 5.2-6 に示すとおりである。

関係市町における過去 5 年間の地盤標高の変動量は-1.7～5.3mm の範囲で沈下及び隆起している。

表 5.2-18 地盤標高の変動量の推移

市	所在地		調査開始 年月日 (昭和)	各年別変動量(mm)					平成 25 年 から平成 30 年まで の変動量	調査開始 年からの 変動量 (mm)	平成 30.1.1 の真高 (T.P.) (m)
	基標 番号	目標		平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年			
日 高 市	54-28	下鹿山 26	55.1.1	+2	2.5	-3.6	-1.2	-0.4	-0.6	-58.9	71.5219
	54-29	楡木 21	55.1.1	+4	-2.7	+5.1	-1.6	+0.9	+5.3	-37.7	87.3056
	56-15	南平沢 335	57.1.1	0	+4.4	-4.5	+1.1	+0.6	+1.4	-30.9	73.1691
鶴 ヶ 島 市	54-36	五味ヶ谷 251	56.1.1	-6	+6.8	-9.4	+6.3	+0.5	-1.7	-59.9	29.4059

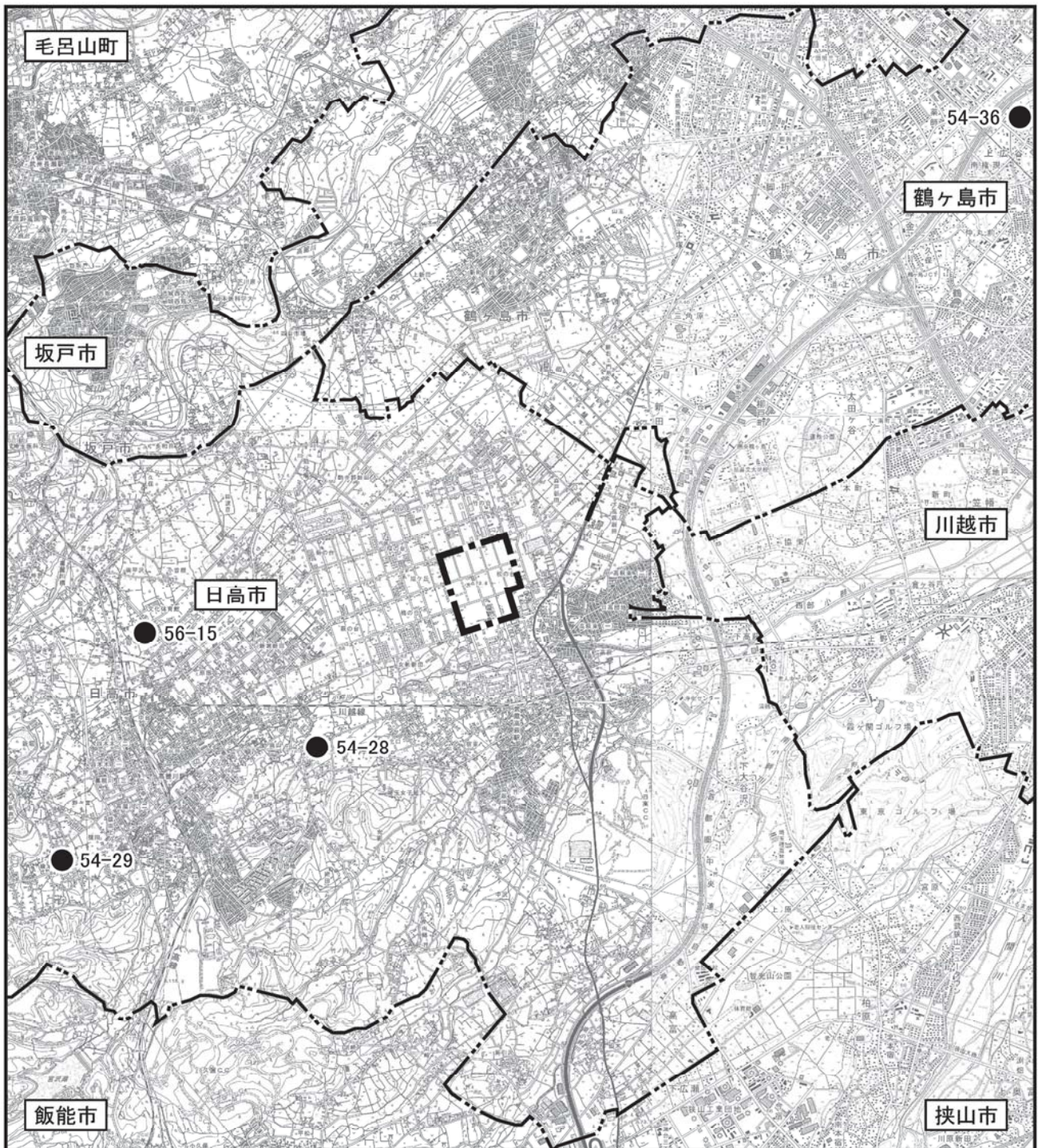
注 1) 各年 1 月 1 日の値を前年値と比較した。

注 2) 表中の基標番号は図 5.2-6 中の番号と対応している。

出典：「水準測量成果表 平成 29 年度」(埼玉県ホームページ)

② 苦情の状況

平成 29 年度における地盤沈下に関する苦情は無かった。(表 5.2-10 参照)。



凡 例

- 計画区域
- 市 界
- 水準点

注) 図中の番号は表5.2-18の基標番号と対応している。
 出典: 「水準測量成果表 平成29年度」(埼玉県ホームページ)

図5.2-6 地盤標高の変動量調査地点位置図



5.2.4 地形及び地質の状況

(1) 地形の状況

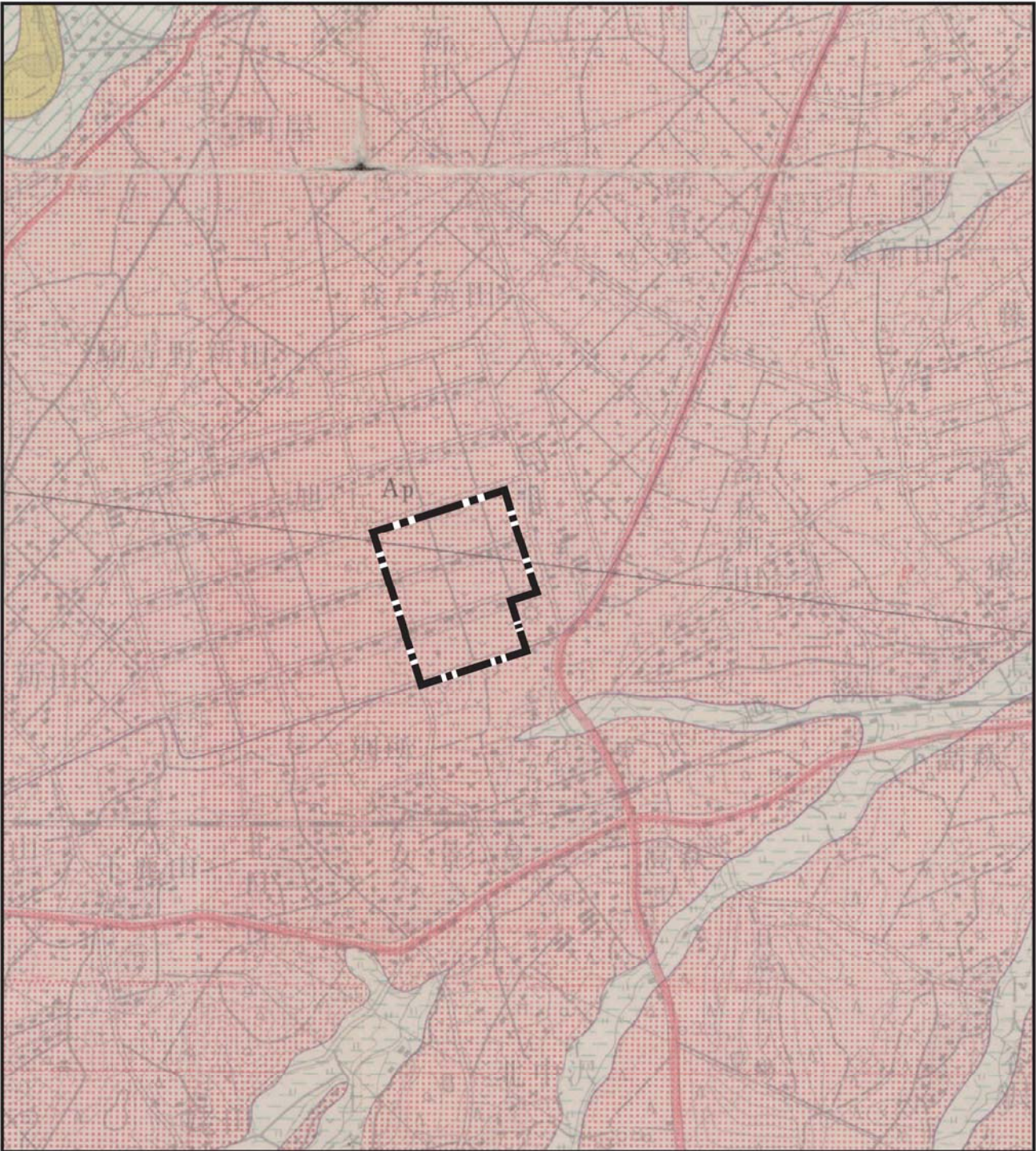
計画区域及び周辺地域の地形分類は、図 5.2-7 に示すとおりである。

計画区域一帯は火山灰台地であり、計画区域南東の小畔川及び下小畔川に沿って、谷底平野となっている。

(2) 地質の状況

計画区域及び周辺地域の表層地質は、図 5.2-8 に示すとおりである。


計画区域一帯は火山性堆積物であるロームで構成されており、計画区域南東の小畔川及び下小畔川に沿って、泥となっている。



凡 例

— · — 計画区域

台地・低地

 火山灰台地

 河原

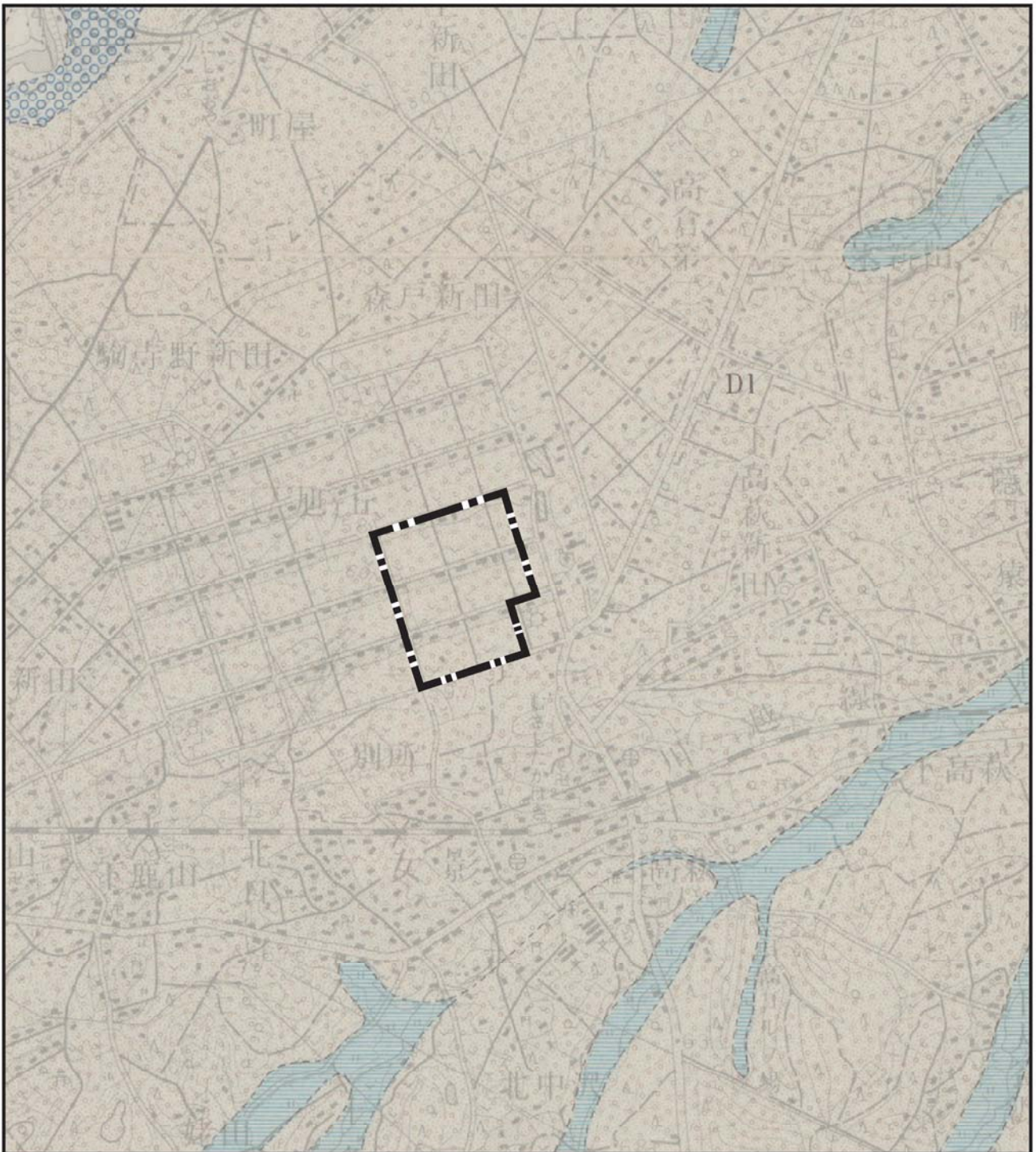
 谷底平野

 扇状地

出典：「1/50,000土地分類基本調査（地形分類図）川越」（昭和46年8月、埼玉県）

図5.2-7 地形分類図





凡 例

- 計画区域
- 未固堆積物質 火山性堆積物
- 泥 □—ム 口—ム
- 礫

出典：「1/50,000土地分類基本調査（表層地質図）川越」（昭和46年8月、埼玉県）

図5.2-8 表層地質図



5.2.5 動物の生息、植物の生育、植生及び生態系の状況

(1) 動物

① 動物相の状況

計画区域周辺の動物の確認記録の概要は、表 5.2-19 に示すとおりである。

計画区域が位置する日高市では、哺乳類 6 種、鳥類 44 種、両生類 4 種、魚類 15 種、昆虫類 101 種が記録されている。

表 5.2-19 計画区域周辺における動物の確認記録

分類	市	主な確認種
哺乳類	日高市	イタチ、タヌキ、ノウサギ、ハクビシンなど 6 種
	鶴ヶ島市	イタチ、ニッコウムササビの 2 種
	坂戸市	ノウサギの 1 種
	川越市	アブラコウモリ、ホンドハツカネズミなど 8 種
	飯能市	ホンドタヌキ、ムササビ、ニホンリスなど 9 種
	毛呂山町	ムササビ、イノシシ、ニホンリスの 3 種
鳥類	日高市	カモ科、サギ科、シジュウカラ科など 44 種
	鶴ヶ島市	カッコウ科、サギ科、アトリ科など 113 種
	坂戸市	カモ科、メチドリ科、ヤツガシラ科など 11 種
	川越市	カモ科、タカ科、ハト科など 21 種
	飯能市	サギ科、ツグミ科、ヒタキ科など 55 種
	毛呂山町	カモ科、ツグミ科、タカ科の 4 種
爬虫類	日高市	—
	鶴ヶ島市	—
	坂戸市	シロマダラの 1 種
	川越市	アオダイショウ、アカミミガメ、イシガメなど 10 種
	飯能市	クサガメ、シマヘビ、マムシなど 5 種
	毛呂山町	—
両生類	日高市	アマガエル、カジカガエル、クサガメなど 4 種
	鶴ヶ島市	—
	坂戸市	—
	川越市	カジカガエル、アズマヒキガエル、アマガエルなど 6 種
	飯能市	カジカガエル、アズマヒキガエル、ニホンアカガエルなど 7 種
	毛呂山町	—
魚類	日高市	アブラハヤ、ウグイ、アユ、オイカワなど 15 種
	鶴ヶ島市	ヒイラギ、カマツカ、メダカの 3 種
	坂戸市	アブラハヤ、ウグイ、アユ、オイカワなど 30 種
	川越市	アブラハヤ、ウグイ、アユ、オイカワなど 26 種
	飯能市	アブラハヤ、ウグイ、ニジマス、ニッコウイワナなど 29 種
	毛呂山町	アブラハヤ、ウグイ、アユ、オイカワなど 19 種
昆虫類	日高市	セミ科、カミキリムシ科、シジミチョウ科など 101 種
	鶴ヶ島市	セミ科、シジミチョウ科、イトトンボ科など 9 種
	坂戸市	セミ科、シジミチョウ科、タテハチョウ科など 8 種
	川越市	セミ科、シジミチョウ科、カワトンボ科など 22 種
	飯能市	セミ科、カミキリムシ科、シジミチョウ科など 142 種
	毛呂山町	カミキリムシ科、シジミチョウ科、カワトンボ科など 47 種

注) 表中の「—」は記録なしを示す。

出典：「埼玉県生物多様性データベース」(埼玉県環境部環境科学国際センター)

「第 5 回自然環境保全基礎調査」(環境省自然環境局生物多様性センター、自然環境調査 Web-GIS)

② 貴重な動物の分布状況

「第5回自然環境保全基礎調査」及び「埼玉県生物多様性データベース 埼玉県動植物リスト」において、関係市町で確認された種のうち表 5.2-20 に該当する種は、表 5.2-21(1)～(3)に示すとおりである。

表 5.2-20 貴重な動物種の選定基準

No.	出典	基準
①	「文化財保護法」 (昭和 25 年 5 月、法律第 214 号)	特天：特別天然記念物 天：天然記念物
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成 4 年 6 月、法律第 75 号)	国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種、
③	「環境省レッドリスト 2019」 (平成 31 年 1 月、環境省)	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：地域個体群
④	「埼玉県レッドデータブック 2018 動物編」 (平成 30 年 3 月、埼玉県)	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 NT1：準絶滅危惧Ⅰ型 NT2：準絶滅危惧Ⅱ型 LP：絶滅のおそれのある地域個体群 RT：地域別危惧
⑤	「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」 (平成 12 年 3 月、条例第 11 号)	希少：県内希少野生動植物種指定

表 5.2-21(1) 計画区域周辺で確認された貴重な動物種

分類	種名	選定基準				
		①	②	③	④	⑤
哺乳類	ムササビ				NT1	
鳥類	ヒメアマツバメ				LP	
	カッコウ				NT2	
	ツツドリ				LP	
	ホトトギス				RT	
	オシドリ			DD	EN	
	トモエガモ			VU	VU	
	ヒシクイ			VU	CR	
	マガン			NT	CR	
	ヤマドリ				VU	
	アオゲラ				RT	
	アマサギ				LP	
	コサギ				NT2	
	ササゴイ				EN	
	チュウサギ			NT	VU	
	ヨシゴイ			NT	VU	
	ベニマシコ				RT	
	ウグイス				RT	
	エゾムシクイ				NT2	
	オオヨシキリ				NT2	
	センダイムシクイ				NT2	
	メボソムシクイ				NT2	
	ヤブサメ				NT2	
	サンコウチョウ				EN	
	ホシガラス				NT2	
	サンショウクイ			VU	EN	
	コガラ				NT2	
	ヒガラ				RT	
	ヤマガラ				RT	
	アカハラ				NT2	
	コルリ				NT1	
	ルリビタキ				RT	
	オオルリ				RT	
	キビタキ				RT	
	コサメビタキ				EN	
	アオジ				DD	
	クロジ				RT	
	コジュリン			VU	VU	
	シマアオジ		国内	CR		
	ホオアカ				CR	
	ミヤマホオジロ				NT1	
	コムクドリ				DD	
チゴモズ			CR	CR		
オオタカ			NT	VU		
サシバ			VU	CR		
ツミ				NT2		
トビ				DD		
ノスリ				NT2		
ハイタカ			NT	DD		

注 1) 選定基準の番号は、表 5.2-20 に対応する。

注 2) 種の並び順は「埼玉県生物多様性データベース」(埼玉県環境部環境科学国際センター) に準拠した。

出典:「埼玉県生物多様性データベース」(埼玉県環境部環境科学国際センター)

「第 5 回自然環境保全基礎調査」(環境省自然環境局生物多様性センター、自然環境調査 Web-GIS)

表 5.2-21(2) 計画区域周辺で確認された貴重な動物種

分類	種名	選定基準				
		①	②	③	④	⑤
鳥類	チョウゲンホウ				NT2	
	ハヤブサ		国内	VU	VU	
	タシギ				RT	
	ヤマシギ				VU	
	イカルチドリ				NT1	
	タゲリ				NT2	
	バン				NT2	
	アオバト				RT	
	シラコバト	国天		EN	EN	
	アオバズク				NT2	
	フクロウ				RT	
	カワセミ				RT	
	コアホウドリ			EN		
	ヨタカ			NT	VU	
両生類	カジカガエル				NT1	
	シュレーゲルアオガエル				NT2	
	アズマヒキガエル				NT1	
	トウキョウダルマガエル			NT	NT1	
	ニホンアカガエル				VU	
	トウキョウサンショウウオ			VU		
	ヤマアカガエル				NT2	
魚類	ニッコウイワナ			DD	VU	
	ヤマメ				VU	
	キンブナ			VU	VU	
	ギバチ			VU		
	ゲンゴロウブナ			EN		
	ドジョウ			NT		
	ワカサギ				NT1	
	ハス			VU		
	ワタカ			CR		
	スゴモロコ			VU		
	ゼゼラ			VU		
	ジュズカケハゼ			NT		
	ホトケドジョウ			EN	CR	
	ツチフキ			EN		

注 1) 選定基準の番号は、表 5.2-20 に対応する。

注 2) 種の並び順は「埼玉県生物多様性データベース」(埼玉県環境部環境科学国際センター) に準拠した。

出典:「埼玉県生物多様性データベース」(埼玉県環境部環境科学国際センター)

「第 5 回自然環境保全基礎調査」(環境省自然環境局生物多様性センター、自然環境調査 Web-GIS)

表 5.2-21(3) 計画区域周辺で確認された貴重な動物種

分類	種名	選定基準				
		①	②	③	④	⑤
昆虫類	チッチゼミ				NT1	
	ハルゼミ				NT1	
	ヤママユ				RT	
	ハネビロエゾトンボ			VU	CR	
	アオハダトンボ			NT	VU	
	ヒメクロサナエ				NT1	
	ヤマサナエ				NT2	
	ハッチョウトンボ				EX	
	ハラビロトンボ				NT2	
	ヒメアカネ				VU	
	ムカシトンボ				NT1	
	サラサヤンマ				NT2	
	アオサナエ				NT1	
	アオヤンマ			NT	VU	
	クロサナエ				NT1	
	コシボソヤンマ				NT1	
	ヒメサナエ				NT1	
	マルタンヤンマ				NT2	
	ホンサナエ				VU	
	キイトトンボ				NT2	
	ネアカヨシヤンマ			NT		
	モートンイトトンボ			NT	EN	
	オオミドリシジミ				NT1	
	ウスイロオナガシジミ				VU	
	ウラギンスジヒョウモン			VU	VU	
	コツバメ				NT2	
	ミヤマセセリ				NT1	
	クモガタヒョウモン				NT2	
	オオウラギンスジヒョウモン				NT2	
	オオアメンボ				NT2	
	ナベブタムシ				VU	
	アカエゾゼミ				NT1	
タガメ			VU	CR		
ミズスマシ			VU	CR		

注1) 選定基準の番号は、表 5.2-20 に対応する。

注2) 種の並び順は「埼玉県生物多様性データベース」(埼玉県環境部環境科学国際センター)に準拠した。

出典:「埼玉県生物多様性データベース」(埼玉県環境部環境科学国際センター)

「第5回自然環境保全基礎調査」(環境省自然環境局生物多様性センター、自然環境調査 Web-GIS)

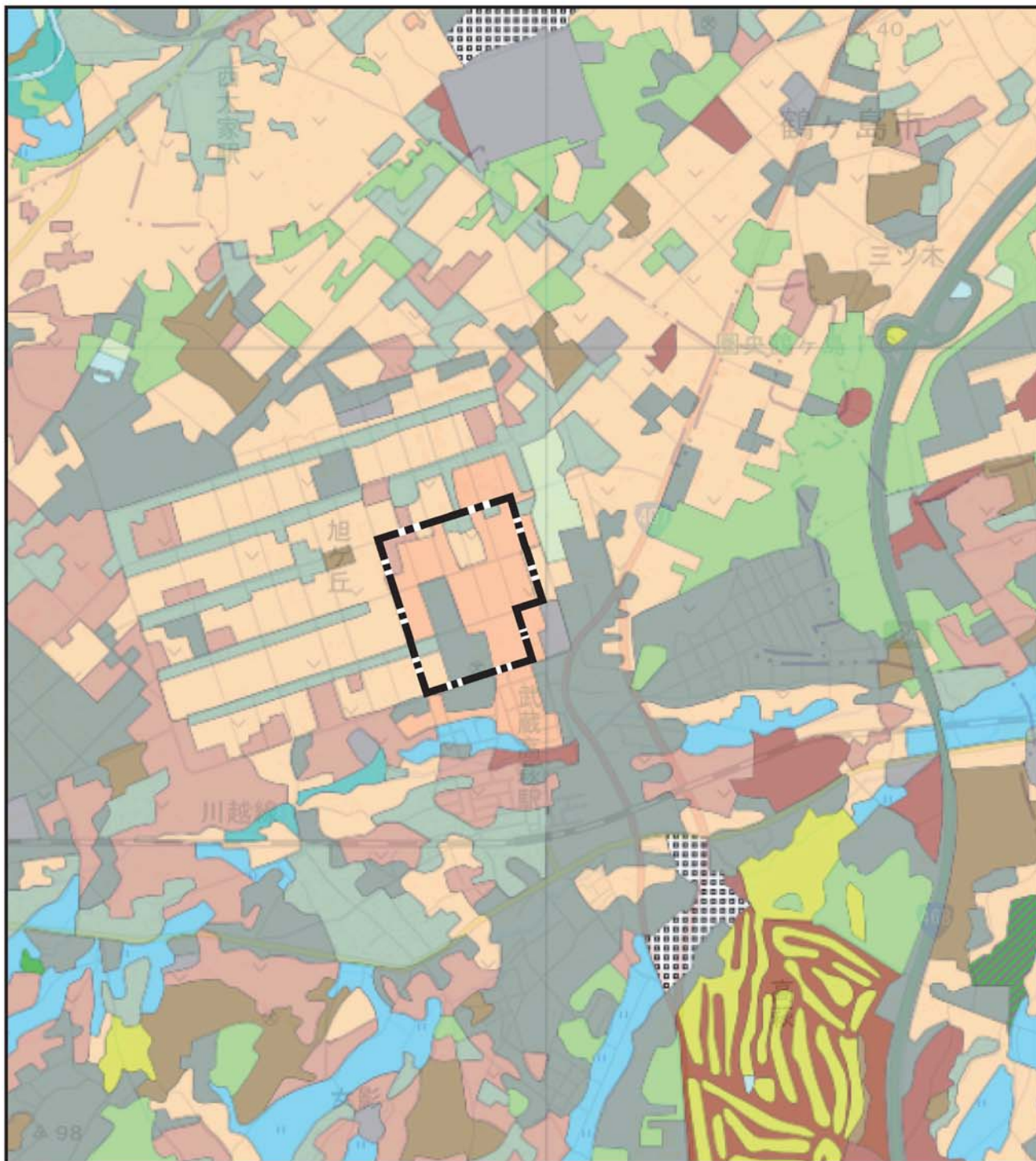
(2) 植物

① 植生の状況






















日高市は、秩父山地の東縁に位置し、山地から東側に連なる山麓地、丘陵地、台地により主な地形が形成されている。樹林地は、スギ、ヒノキ、サワラなどの針葉樹林で構成されており、計画区域が該当する台地においてはクヌギ、コナラなどの雑木林が所々みられる。

計画区域周辺の植生図は、図 5.2-9 に示すとおりである。

計画区域は、主に放棄畑雑草群落、市街地、畑雑草群落で構成されている。比較的まとまった樹林としては計画区域東側にクヌギーコナラ群落がみられるが、それ以外にまとまった樹林はみられない。



凡 例

 計画区域	 クヌギーコナラ群落	 放棄畑雑草群落	 緑の多い住宅地
 市 界	 アカマツ群落	 果樹園	 工場地帯
 アラカシ群落	 スギ・ヒノキ・サワラ植林	 畑雑草群落	 造成地
 ケヤキ・シラカシ群落	 アカマツ植林	 水田雑草群落	 開放水域
 クリーコナラ群落	 ゴルフ場・芝地	 放棄水田雑草群落	
 路傍・空地雑草群落	 市街地		

出典：「第6回・第7回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センター、自然環境調査Web-GIS）

図5.2-9 植生図

0 250 500 1,000m



② 貴重な植物の分布状態

「1998年版埼玉県植物誌」に記載されている、関係市町で確認された種のうち表 5.2-22 に該当する種は表 5.2-23(1)～(2)に示すとおりである。

関係市町で確認された植物は 37 科 73 種であった。

そのうち「環境省レッドリスト 2019」に該当する植物は 16 種であり、ミズニラやサンショウモ、アキノハハコグサなどがあげられる。

表 5.2-22 貴重な植物種の選定基準

No.	出典	基準
①	「文化財保護法」 (昭和 25 年 5 月、法律第 214 号)	特天：特別天然記念物 天：天然記念物
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成 4 年 6 月、法律第 75 号)	国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種、
③	「環境省レッドリスト 2019」 (平成 31 年 1 月、環境省)	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：地域個体群
④	「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」 (平成 24 年 3 月、埼玉県)	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CE：絶滅危惧Ⅰ類 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：地域個体群
⑤	「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」 (平成 12 年 3 月、条例第 11 号)	希少：県内希少野生動植物種指定

表 5.2-23(1) 計画区域周辺で確認された貴重な植物種

科名	種名	選定基準				
		①	②	③	④	⑤
イワヒバ科	カタヒバ				NT	
ミズニラ科	ミズニラ			NT	VU	
ウラジロ科	ウラジロ				NT	
ホングウシダ科	ホラシノブ				VU	
シシラン科	シシラン				NT	
オシダ科	サイゴクイノデ				VU	
サンショウモ科	サンショウモ			VU	EN	
ブナ科	アカガシ				NT	
タデ科	ナガバノウナギツカミ			NT	EX	
	コギシギシ			VU	VU	
クスノキ科	ニッケイ			NT		
ドクダミ科	ハンゲショウ				VU	
ウマノスズクサ科	カンアオイ				NT	
アブラナ科	コイヌガラシ			NT	NT	
	ハタザオ				VU	
ユキノシタ科	タコノアシ			NT	VU	
バラ科	リンボク				EN	
	カワラサイコ				VU	
マメ科	レンリソウ				EN	
ミカン科	フユザンショウ				NT	
クロウメモドキ科	ミヤマクマヤナギ				VU	
ミソハギ科	ヒメミソハギ				NT	
	ミズまつば			VU	VU	
アリノトウグサ科	フサモ				NT	
サクラソウ科	ヌマトラノオ				NT	
リンドウ科	センブリ				VU	
ガガイモ科	タチガシワ				NT	
アカネ科	アリドオシ				VU	
	キクムグラ				NT	
シソ科	オカタツナミソウ				NT	
	ヒメナミキ				EN	
ゴマノハグサ科	アブノメ				NT	
	オオアブノメ			VU	EN	
	シソクサ				EN	
	キクモ				NT	
	イヌノフグリ			VU	NT	
	カワヂシャ			NT	VU	
	ハグロソウ				NT	
スイカズラ科	ゴマギ				NT	
オミナエシ科	ツルカノコソウ				NT	
キク科	タウコギ				NT	
	キクタニギク			NT	NT	
	アキノハハコグサ			EN	CR	
	オグルマ				NT	
	カセンソウ				NT	
	オナモミ			VU	VU	
オモダカ科	ヘラオモダカ				NT	
	アギナシ			NT	CR	
	ウリカワ				NT	

注 1) 選定基準の番号は、表 5.2-22 に対応する。

注 2) 種の並び順は「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」(平成 24 年 3 月、埼玉県)に準拠した。

出典:「1998 年版 埼玉県植物誌」(平成 10 年 3 月、埼玉県教育委員会)

表 5.2-23(2) 計画区域周辺で確認された貴重な植物種

科名	種名	選定基準				
		①	②	③	④	⑤
トチカガミ科	クロモ				EN	
	ミズオオバコ			VU	VU	
	セキショウモ				NT	
ヒルムシロ科	エビモ				NT	
	ヒルムシロ				NT	
	ササバモ				NT	
ヒガンバナ科	キツネノカミソリ				NT	
ホシクサ科	ヒロハイヌノヒゲ				VU	
	ニッポンイヌノヒゲ				EN	
イネ科	セトガヤ				NT	
	カリマタガヤ				VU	
	ムツオレグサ				NT	
	アズマガヤ				NT	
	ウキシバ				VU	
サトイモ科	ウラシマソウ				NT	
カヤツリグサ科	ヤマアゼスゲ				NT	
	ヒメゴウソ				NT	
	シロガヤツリ				VU	
	コアゼテンツキ				NT	
	ヒメホタルイ				VU	
	コマツカサススキ				EN	
	マツカサススキ				NT	
ラン科	ギンラン				VU	
	ササバギンラン				NT	
	クモキリソウ				NT	

注 1) 選定基準の番号は、表 5.2-22 に対応する。

注 2) 種の並び順は「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」(平成 24 年 3 月、埼玉県)に準拠した。

出典：「1998 年版 埼玉県植物誌」(平成 10 年 3 月、埼玉県教育委員会)

③ 重要な植物群落、巨樹・巨木等の分布状況

関係市町における、国土交通省都市緑化データベースによる条例に基づく保存樹・保存樹林の指定状況は、表 5.2-24 に示すとおりであり、日高市は、国土交通省都市緑化データベースによる条例に基づく保存樹・保存樹林は指定されていない。

また、「第 6 回自然環境保全基礎調査」による計画区域周辺の巨樹・巨木の状況は表 5.2-25 に、分布状況は図 5.2-10 に示すとおりである。

計画区域から最も近い巨樹・巨木は、計画区域北西側約 3km に位置する「土屋神社の神木杉」である。

表 5.2-24 保存樹及び保存樹林の指定状況

市名	保存樹 (本)	保存樹林		生垣等	
		件数	面積(m ²)	件数	延長(m)
日高市	—	—	—	—	—
鶴ヶ島市	3	0	0.00	0	0.00
坂戸市	387	30	200,792.00	59	5,618.70
川越市	220	130	458,110.54	0	0.00
飯能市	—	—	—	—	—
毛呂山町	3	1	13,099.00	0	0.00

注 1) 数値は、平成 29 年 3 月 31 日現在の値である。

注 2) 表中の「—」は該当なしを示す。

出典：「条例に基づく保存樹・保存樹林の指定状況」(国土交通省都市緑化データベース)

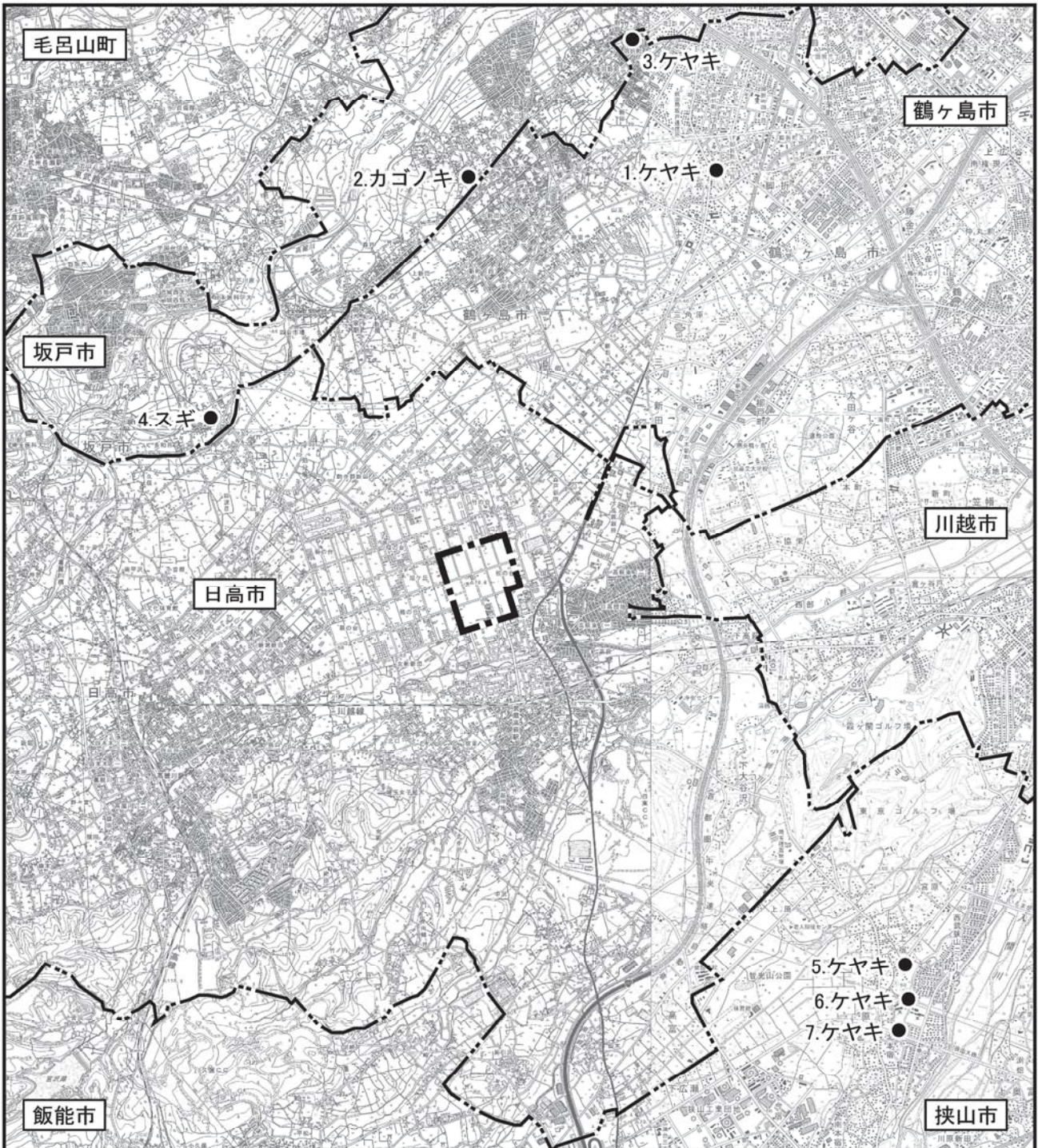
表 5.2-25 計画区域周辺の巨樹・巨木の状況

番号	市名	区分	樹種	幹周(cm)	樹高(m)
1	鶴ヶ島市	脚折の大ケヤキ	ケヤキ	749	17
2	坂戸市	鹿の子木	カゴノキ	470	15
3		鶴明神の大ケヤキ	ケヤキ	600	25
4		土屋神社の神木杉	スギ	850	28
5	狭山市	—	ケヤキ	320	20
6		—	ケヤキ	310	20
7		—	ケヤキ	340	22

注 1) 表中の番号は図 5.2-10 の番号と対応している。

注 2) 表中の「—」は該当なしを示す。

出典：「第 6 回自然環境保全基礎調査」(環境省自然環境局生物多様性センター、自然環境調査 Web-GIS)



凡 例

- 計画区域
- - - 市 界
- 巨樹・巨木

注) 図中の番号は表5.2-25の番号と対応している。

図5.2-10 巨樹・巨木位置図



(3) 生態系

計画区域は主に放棄畑雑草群落、市街地、畑雑草群落で構成されており、計画区域北側は鶴ヶ島市にかけて畑雑草群落が広がっている。また、計画区域東側にはクヌギーコナラ群落がみられ、計画区域南側は市街地、緑の多い住宅地がみられる。

計画区域周辺における代表的な基礎生産者は、畑雑草群落、クヌギーコナラ群落であることから、鳥類ではカッコウ、ウグイス、ハシボソガラスなど樹林環境でみられる鳥類やノウサギ、キツネなどの哺乳類、乾性草地環境で一般的にみられるトンボやバッタなどの昆虫類とこれらを餌とする爬虫類などの生息が考えられる。

5.2.6 景観、自然とのふれあいの場の状況

(1) 景観

① 地域景観の状況

計画区域は、高麗川、小畔川に挟まれた台地に位置している。

計画区域周辺は主に畑地が分布し、計画区域東側には国道 407 号線、首都圏中央連絡自動車道が通り、その周辺には多くの住宅が密集して分布している。

② 景観資源及び主要眺望地点の状況

計画区域周辺の景観資源の概要は表 5.2-26 に、主要眺望地点の概要は表 5.2-27 に、位置は図 5.2-11 に示すとおりである。

計画区域を眺望でき不特定多数の人に利用される主な地点は、計画区域南側の「武蔵高萩駅」や計画区域北側に近接している「加藤牧場」があげられるが、計画区域周辺は、地形の起伏がなく平坦であることから自然の地形を活かした眺望地点は少ない。

表 5.2-26 計画区域周辺の景観資源（自然的・歴史的景観資源）

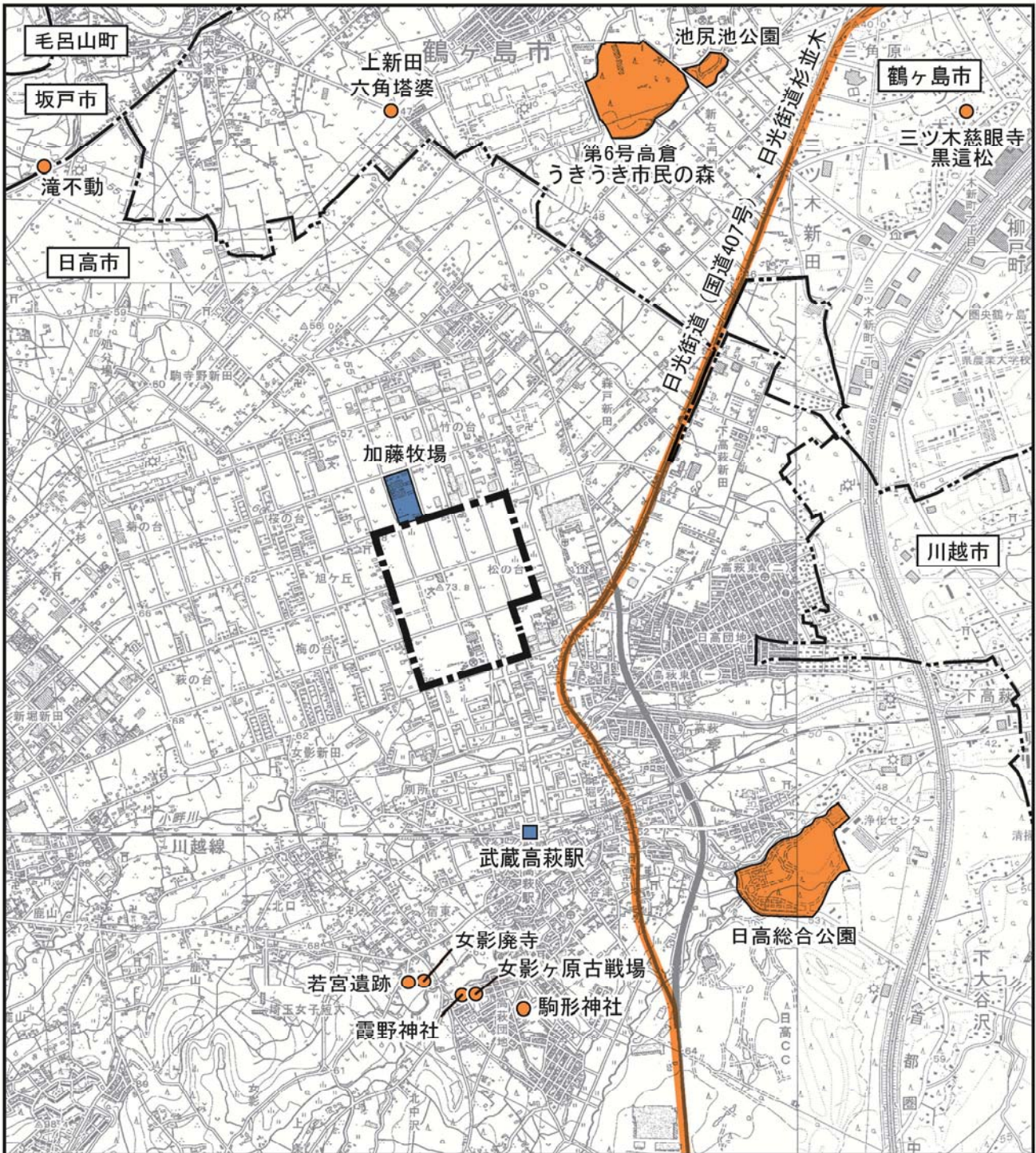
所在地	名称	概要
日高市	日光街道	江戸時代、八王子の千人同心が日光東照宮の火の番を勤めるため往来した道。
	霞野神社	明治43年に12社を合祀し造営。本殿は江戸時代末の作、懸額は市指定文化財。
	女影ヶ原古戦場	交通の要路であり、建武2年中先代の乱の合戦場と伝わる。県指定文化財。
	若宮遺跡	市指定文化財の古代寺院遺物が出土した遺跡。
	女影廃寺	若宮遺跡内に含まれる遺跡。
	駒形神社	市指定文化財の本殿がある、三柱を祀る社。
	日高総合公園	緑の多い公園で、園内の道路に沿って桜並木が植えられている。
鶴ヶ島市	日光街道杉並木	江戸時代、川越藩主松平伊豆守が植えたといわれている。
	上新田六角塔婆	寛文5年に造立された市内で最も古い庚甲塔。市指定文化財。
	三ッ木慈眼寺黒這松	境内の松は樹齢300年以上といわれる。市指定天然記念物。
	第6号高倉 うきうき市民の森	蛸が生息する小川が流れ、武蔵野の面影を残す良好な樹林地。 「おかねが井戸」といわれる井戸の形跡がある。
	池尻池公園	公園の中央に大きな池のある、緑豊かな公園。
坂戸市	滝不動	崖の中段に堂があり、明和4年の銘がある不動明王が安置されている。

出典：「日高市観光ガイドマップ」「市指定文化財」（日高市ホームページ）
 「埼玉県所在国指定・県指定等文化財一覧」（埼玉県公式ホームページ）
 「公園紹介 埼玉県の公園紹介サイト」（彩の国埼玉情報サイトさいたまナビ）
 「つるがしま文化財マップ」（鶴ヶ島市公式ホームページ）
 「市民の森」（鶴ヶ島市公式ホームページ）
 「坂戸市観光ガイドマップ」（坂戸市ホームページ）
 「日高・鶴ヶ島と入間川サイクリング」（川越市公式ホームページ）

表 5.2-27 計画区域周辺の主要眺望等

所在地	名称	概要
日高市	武蔵高萩駅	J R 東日本の川越線の駅。
	加藤牧場	乳牛約200頭を飼育している牧場。菜の花畑がある。

出典：「加藤牧場紹介」（加藤牧場ホームページ）



凡例

- 計画区域
- 市界
- 景観資源
- 景観資源 (街道等)
- 主要眺望点

出典：表5.2-26～27の出典を参照

図5.2-11 景観資源及び主要眺望点位置図



③ 自然とのふれあいの場

計画区域及び周辺地域の自然との触れ合いの場を表 5.2-28(1)～(2)に、分布図は図 5.2-12 に示すとおりである。

日高市は、「ウォーキング天国 ひだか」としてウォーキング事業に注力していることから、計画区域周辺には自然とふれあいながら歩くことのできるウォーキングコースが多数存在している。

計画区域最寄りのウォーキングコースとして、旭ヶ丘健康コースや日光杉並木コースがある。

表 5.2-28(1) 計画区域周辺の主要な自然とのふれあいの場

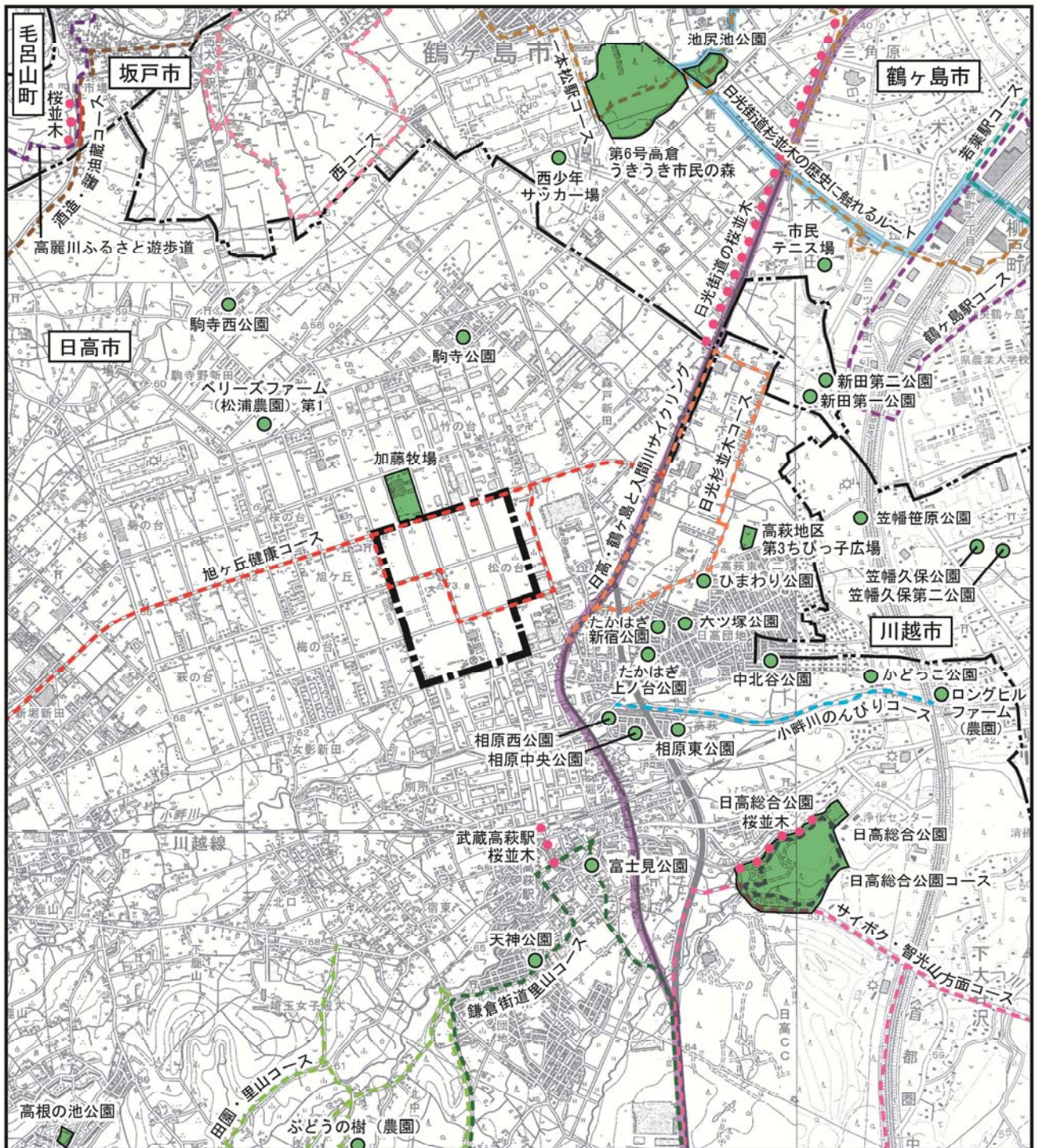
市区名	内容	施設名
日高市	公園 スポーツ施設	日高総合公園
		高萩地区第3ちびっ子広場
		中北谷公園
		天神公園
		相原東公園
		相原中央公園
		相原西公園
		高根の池公園
		六ツ塚公園
		かどっこ公園
		富士見公園
		駒寺西公園
		駒寺公園
		たかはぎ上ノ台公園
		たかはぎ新宿公園
	ひまわり公園	
	ウォーキングコース	旭ヶ丘健康コース
		日光杉並木コース
		小畔川のんびりコース
		日高総合公園コース
		サイボク・智光山方面コース
		鎌倉街道里山コース
		田園・里山コース
		酒造・醤油蔵コース
	サイクリングコース	日高・鶴ヶ島と入間川サイクリング
	牧場	加藤牧場
	農場	ベリーズファーム（松浦農園）第1
		ぶどうの樹
		ロングヒルファーム
	桜の名所	武蔵高萩駅
日高総合公園		

出典：「スポーツ、公園」「広域行政」（日高市ホームページ）
「ひだか探訪お散歩マップ」（ひだかの旅 日高市観光協会 WEB）

表 5.2-28(2) 計画区域周辺の主要な自然とのふれあいの場

市区名	内 容	施設名
鶴ヶ島市	公園 スポーツ施設	池尻池公園
		第6号高倉うきうき市民の森
		西少年サッカー場
		市民テニス場
	ウォーキングコース	西コース
		一本松駅コース
		若葉駅コース 鶴ヶ島駅コース
サイクリングコース	日光街道杉並木の歴史に触れるルート	
桜の名所	日光街道の桜並木（鶴ヶ島中学校前）	
川越市	公園 スポーツ施設	笠幡笹原公園
		新田第一公園
		新田第二公園
		笠幡久保第二公園
		笠幡久保公園
坂戸市	ウォーキングコース	高麗川ふるさと遊歩道
	桜の名所	高麗川ふるさと遊歩道の桜並木 （諏訪神社付近）

出典：「埼玉県の桜の名所 埼玉県の公園紹介サイト」（彩の国埼玉情報サイトさいたまナビ）
「公園緑地」「スポーツ施設のご案内」「元気鶴ヶ島健康ウォーキングマップ」
「つるがしま桜スポット」（鶴ヶ島公式ホームページ）
「地図情報」「観光ルート」（川越市公式ホームページ）
「坂戸市観光ガイドマップ」（坂戸市ホームページ）



凡 例

- | | | | |
|------|------|------|-----------|
| ■■■ | 計画区域 | ---- | ウォーキングコース |
| ---- | 市界 | —— | サイクリングコース |
| ■● | 公園等 | ●●●● | 桜の名所 |

出典：表5.2-28(1)～(2)の出典を参照

図5.2-12 主要な自然とのふれあいの場の状況図

0 250 500 1,000m



5.2.7 文化財その他の生活環境の状況

(1) 指定文化財

計画区域周辺の指定文化財は表 5.2-29 に、位置は図 5.2-13 に示すとおりである。

計画区域に最も近い文化財としては、計画区域南側約 1.3km に位置する若宮遺跡などの歴史的建造物や考古資料などがある。

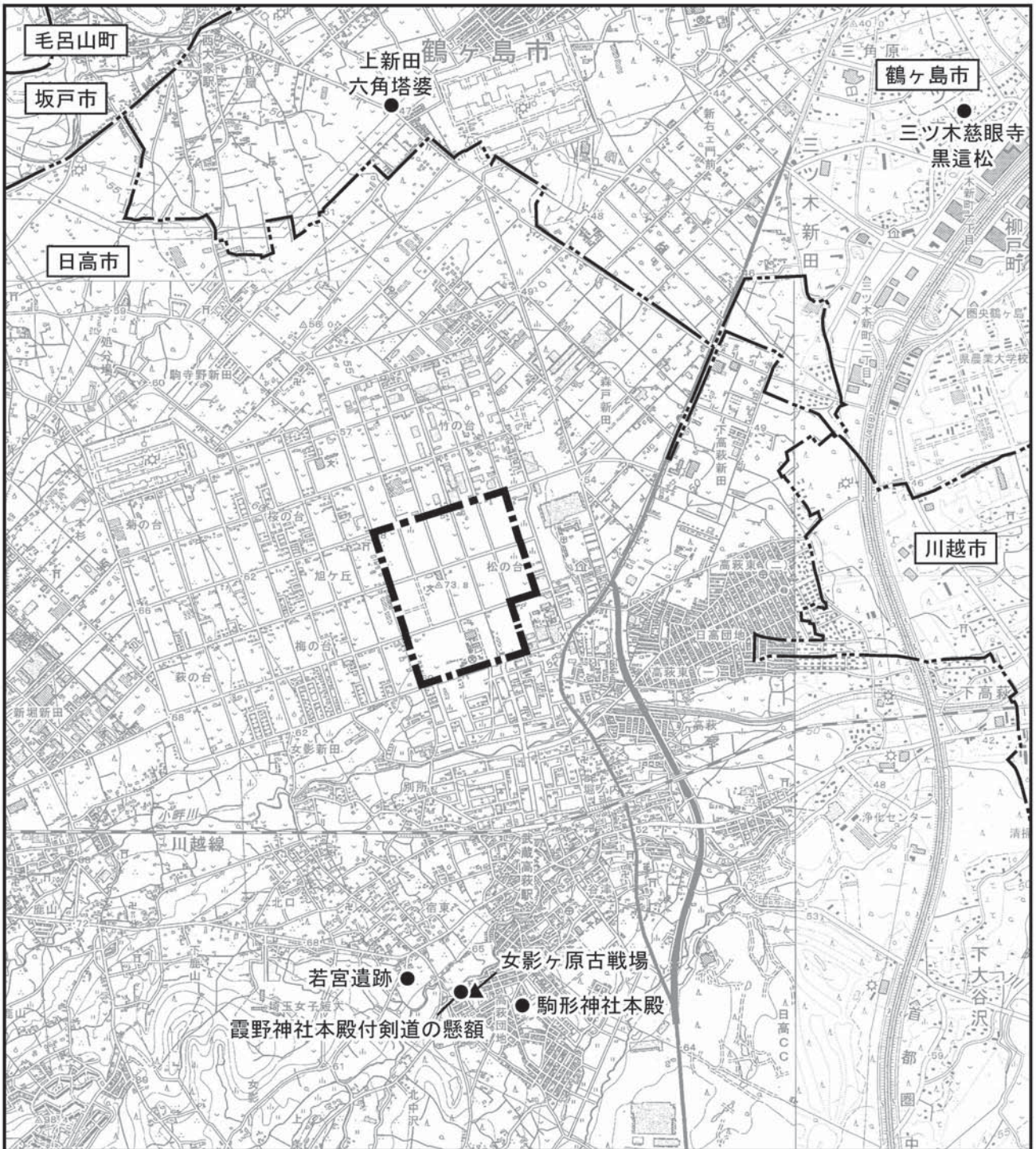
表 5.2-29 計画区域周辺の指定文化財

市	指定	区 分		名 称	所在地
日高市	県	記念物	旧跡	女影ヶ原古戦場	日高市大字女影 444
	市	有形文化財	建造物	霞野神社本殿付剣道の懸額	日高市大字女影 444
	市	有形文化財	考古資料	若宮遺跡（女影廃寺）	日高市大字女影
	市	有形文化財	建造物	駒形神社本殿	日高市大字高萩 750
鶴ヶ島市	市	有形民俗文化財	民俗資料	上新田六角塔婆	鶴ヶ島市上新田 539-7
	市	記念物	天然記念物	三ツ木慈眼寺黒這松	鶴ヶ島市三ツ木 512

出典：「市指定文化財」（日高市ホームページ）

「埼玉県所在国指定・県指定等文化財一覧」（埼玉県ホームページ）

「つるがしま文化財マップ」（鶴ヶ島市公式ホームページ）



凡例

- 計画区域
- 市界
- ▲ 県指定文化財
- 市指定文化財

出典：表5.2-29の出典を参照

図5.2-13 指定文化財の分布状況図



(2) 埋蔵文化財の状況

計画区域周辺の埋蔵文化財は表 5.2-30 に、位置は図 5.2-14 に示すとおりである。

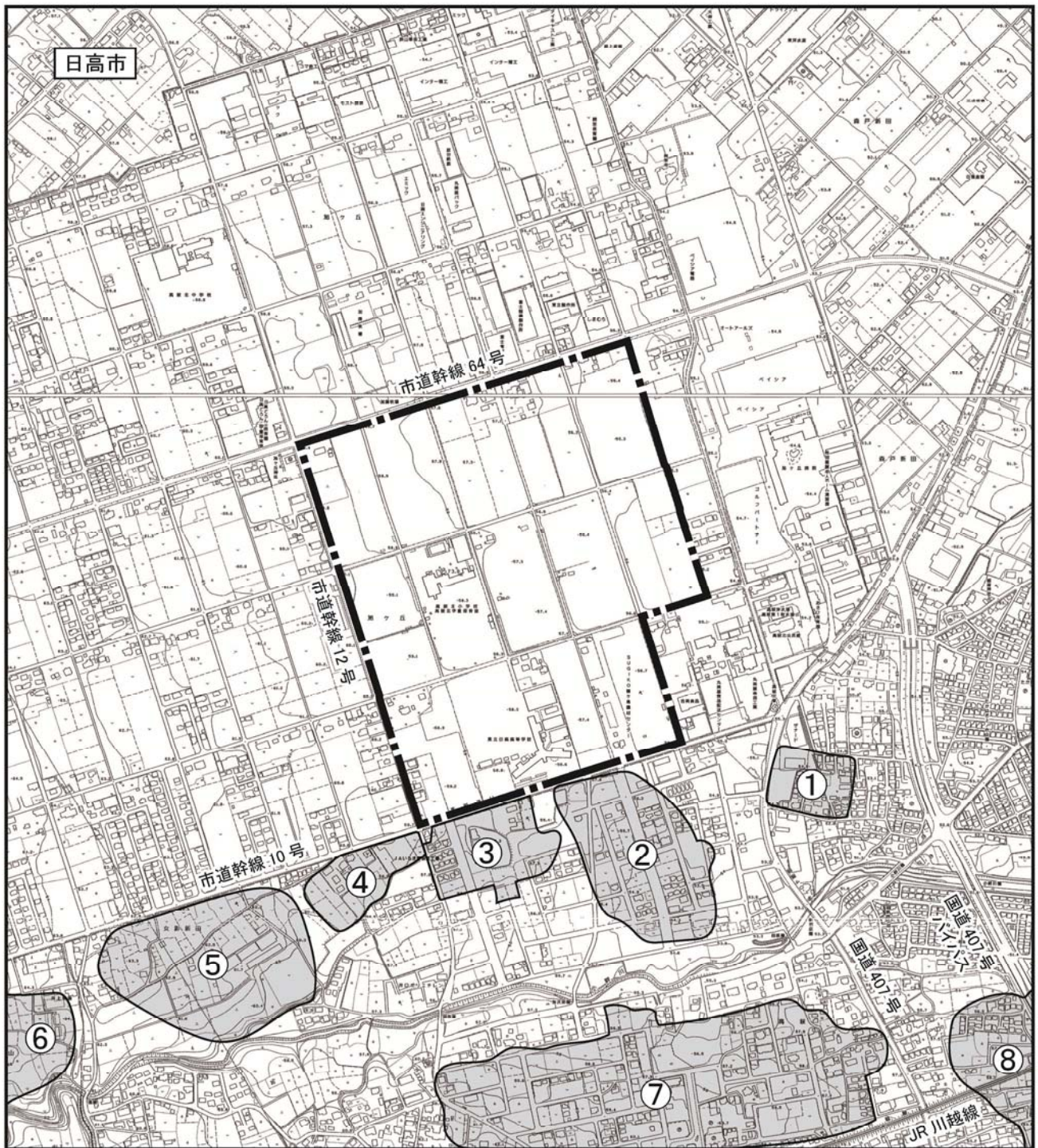
計画区域には「②捨石遺跡」と「③王神遺跡」が隣接しており南側に広く分布している。

表 5.2-30 計画区域周辺の埋蔵文化財

番号	名称	種別	主な時代
①	新宿遺跡	集落跡	平安
②	捨石遺跡	集落跡	縄文、奈良、平安
③	王神遺跡	集落跡	平安
④	中王神遺跡	集落跡	平安
⑤	道光林遺跡	集落跡	平安
⑥	大黒ヶ谷戸遺跡	集落跡	縄文、平安
⑦	堀之内遺跡	集落跡	平安
⑧	宿東遺跡	集落跡	縄文

注) 表中の番号は図 5.2-14 の番号と対応している。

出典：「埼玉県埋蔵文化財情報公開ページ」(埼玉県教育局生涯学習文化財課)



凡例

- 計画区域
- 埋蔵文化財

注) 図中の番号は表5.2-30の番号と対応している。
 出典: 「埼玉県埋蔵文化財情報公開ページ 日高市」より作成 (埼玉県教育局生涯学習文化財課)

図5.2-14 埋蔵文化財位置図



5.2.8 一般環境中の放射性物質に係る環境の状況

計画区域周辺における放射線量の測定結果は表 5.2-31(1)～(2)に、位置は図 5.2-15 に示すとおりである。

計画区域周辺における放射線量の測定結果は、0.0478～0.678 μ Sv/h であった。

表 5.2-31(1) 日高高等学校における放射線量測定結果

項目	測定高さ (cm)	測定値 (μ Sv/h)	測定高さ (cm)	測定値 (μ Sv/h)
雨どい下	100	0.0572	1	0.1384
側溝	100	0.0826	1	0.6780
側溝	100	0.0924	1	0.4982
側溝	100	0.0688	1	0.2008
集水マス	100	0.0688	1	0.0484
側溝	100	0.0726	1	0.0896
雨どい下	100	0.0494	1	0.0870
集水マス	100	0.0746	1	0.0744
雨どい下	100	0.0556	1	0.0538
平均的な場所	100	0.0564	1	0.0796

注) 測定日：平成 23 年 11 月 24 日

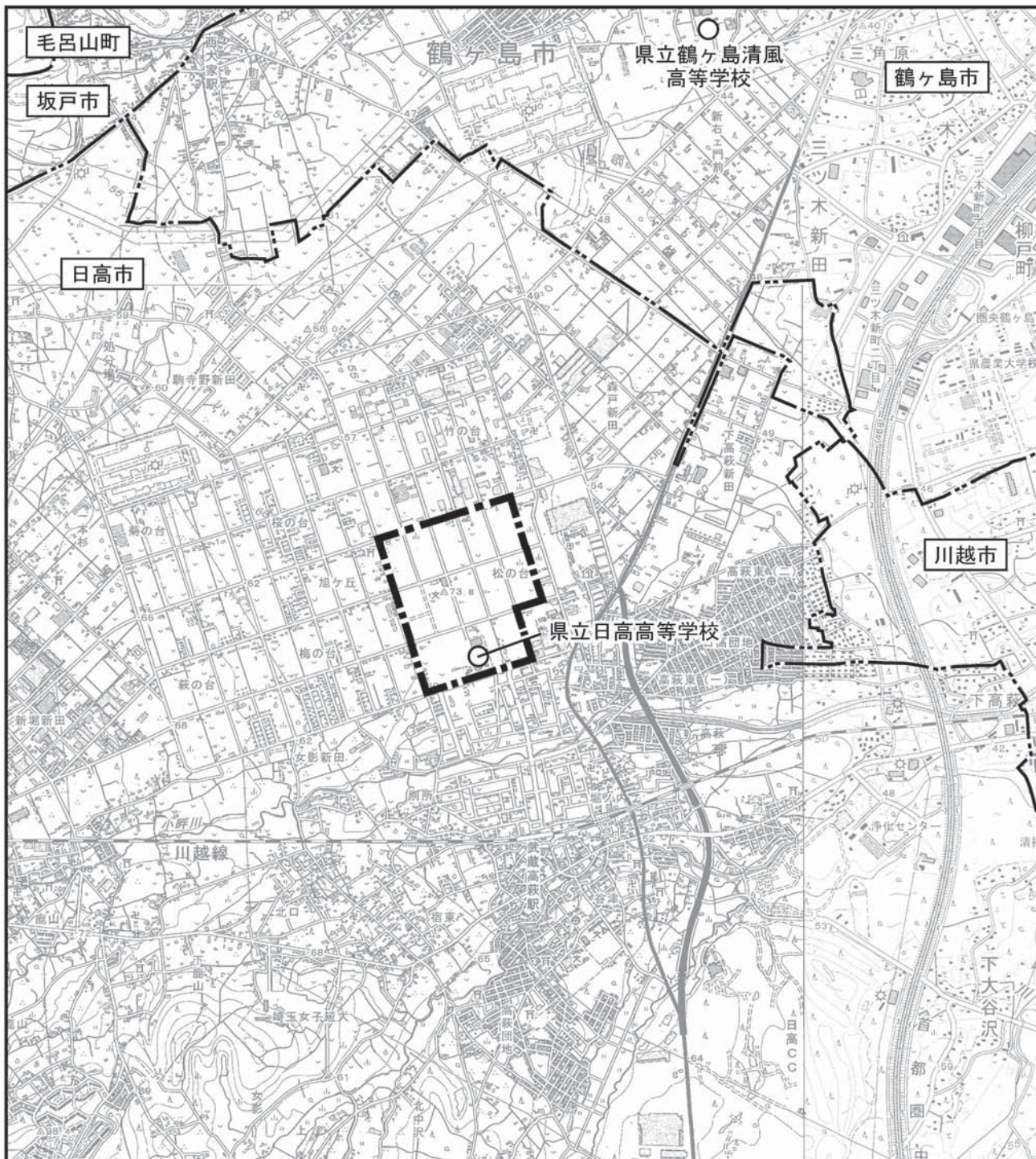
出典：「県有施設における放射線の測定結果について」(埼玉県ホームページ)

表 5.2-31(2) 県立鶴ヶ島清風高等学校における放射線量測定結果

項目	測定高さ (cm)	測定値 (μ Sv/h)	測定高さ (cm)	測定値 (μ Sv/h)
側溝	100	0.0720	1	0.0872
集水マス	100	0.0636	1	0.1046
雨どい下	100	0.0678	1	0.2142
集水マス	100	0.0632	1	0.0640
側溝	100	0.0608	1	0.0706
雨どい下	100	0.0794	1	0.1048
側溝	100	0.0766	1	0.0702
側溝	100	0.0676	1	0.1616
側溝	100	0.0590	1	0.0664
平均的な場所	100	0.0478	1	0.0562

注) 測定日：平成 23 年 11 月 22 日

出典：「県有施設における放射線の測定結果について」(埼玉県ホームページ)



凡 例

- 計画区域
- 放射線量調査地点
- 市 界

出典：「県有施設における放射線の測定結果について」（埼玉県ホームページ）

図5.2-15 放射線量調査位置地点

